



# 2022年度 第3四半期（4-12月） 決算説明会【電話会議】

## コマツ出席者

取締役常務執行役員CFO 堀越 健  
常務執行役員経営管理部長 森下 正敏

2023年1月31日（火）

# 目次

## I.2022年度 第3四半期（4-12月）決算の概要 <P3-P13>

- P4-P6 : 2022年度 第3四半期（10-12月）の概況
- P7-P8 : 2022年度 第3四半期（4-12月）の概況
- P9-P10 : <建設機械・車両> 2022年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P11 : <リテールファイナンス> 2022年度 第3四半期（4-12月）の状況
- P12 : <産業機械他> 2022年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益
- P13 : 連結貸借対照表

## II.2022年度の業績見通し <P14-P24>

- P15 : 2022年度の業績見通し
- P16-P21 : <建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し（全体および地域別）
- P22-P23 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P24 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

## 参考資料 <P25-P33>

- P26-P30 : 四半期毎の状況
- P31-P33 : BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

# I .2022年度 第3四半期（4-12月）決算の概要

# 2022年度 第3四半期（10-12月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+27.3%増収の9,205億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+54.3%増益の1,350億円、売上高営業利益率は+2.6ポイント上昇し14.7%。
- ・ 純利益は前年同期比+11.2%増益の693億円。

金額単位：億円	2021年10-12月 ¥112.9/USD ¥129.7/EUR ¥82.3/AUD	2022年10-12月 ¥143.6/USD ¥144.0/EUR ¥93.8/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	7,233	9,205	+1,972	+27.3%
セグメント利益	857	1,334	+477	+55.6%
その他の営業収益（▲費用）	17	15	▲ 2	-
営業利益	875	1,350	+475	+54.3%
売上高営業利益率	12.1%	14.7%	+2.6ポイント	-
その他の収益（▲費用）	3	▲ 229	▲ 232	-
税引前純利益	878	1,120	+242	+27.6%
当社株主に帰属する当期純利益	624	693	+70	+11.2%

# 2022年度 第3四半期（10-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+30.8%増収の8,634億円。セグメント利益は前年同期比+66.6%増益の1,220億円。セグメント利益率は+3.0ポイント上昇し14.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+25.4%増収の221億円。セグメント利益は前年同期比+17.5%増益の64億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲14.0%減収の431億円。セグメント利益は前年同期比▲28.0%減益の47億円。

□ : 利益率 ( ): 外部顧客向け売上高

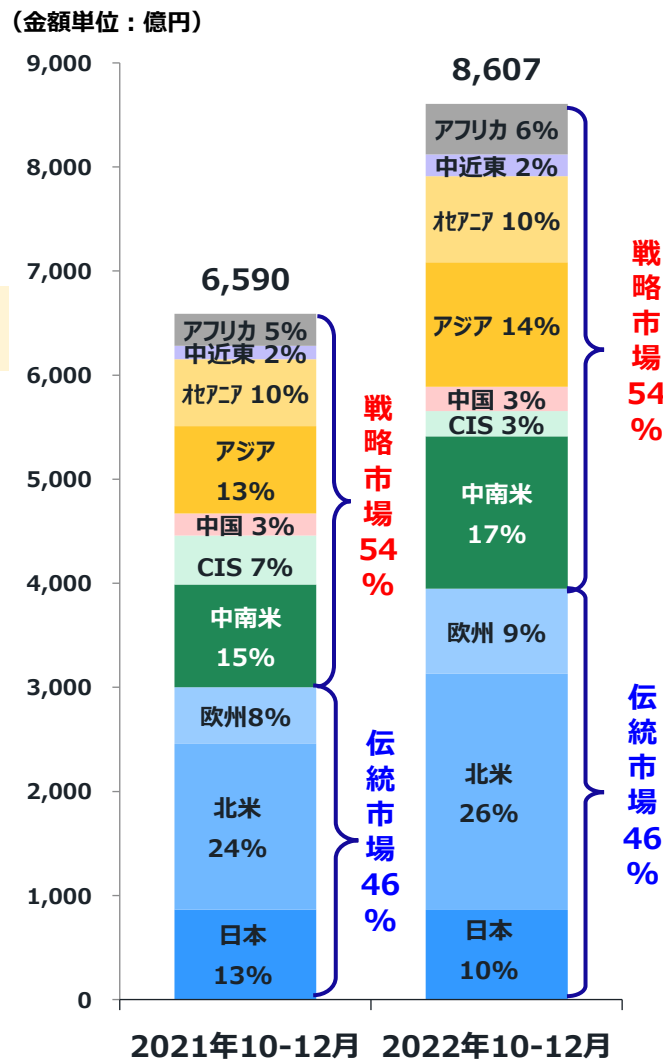
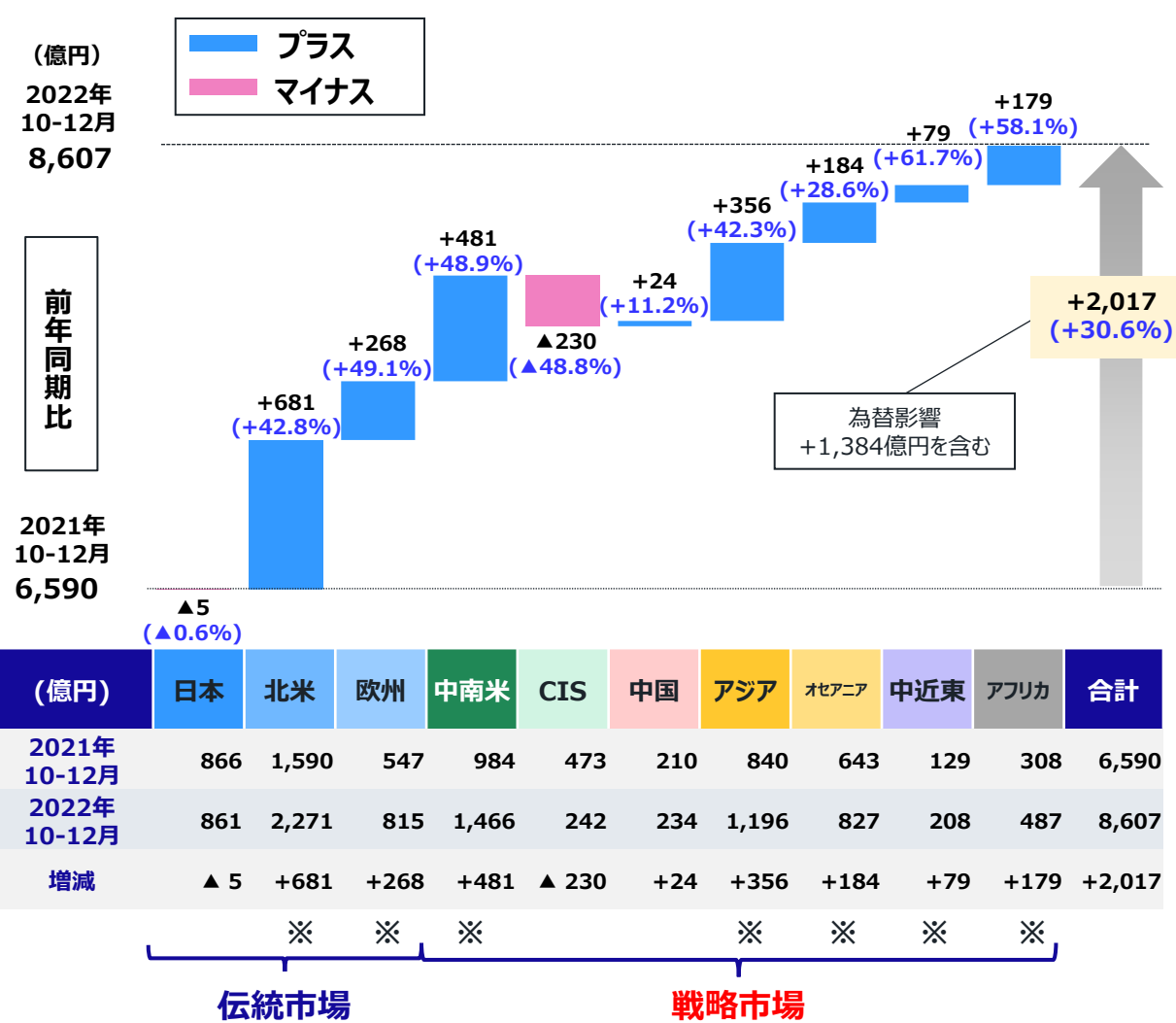
金額単位：億円	2021年10-12月		2022年10-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	7,233		9,205		+1,972		+27.3%	
建設機械・車両	(6,590)	6,602	(8,607)	8,634	(+2,017)	+2,033	(+30.6%)	+30.8%
リテールファイナンス	(147)	176	(171)	221	(+25)	+45	(+16.9%)	+25.4%
産業機械他	(496)	502	(427)	431	(▲69)	▲70	(▲14.0%)	▲14.0%
消去	▲47		▲82		▲35		-	
セグメント利益	□ 11.9%	857	□ 14.5%	1,334	□ +2.6ポイント	+477	+55.6%	
建設機械・車両	□ 11.1%	733	□ 14.1%	1,220	□ +3.0ポイント	+488	+66.6%	
リテールファイナンス	□ 30.9%	54	□ 29.0%	64	□ ▲1.9ポイント	+10	+17.5%	
産業機械他	□ 12.9%	65	□ 10.8%	47	□ ▲2.1ポイント	▲18	▲28.0%	
消去または全社	6		3		▲2		-	

## 各セグメントの状況：

- 建設機械・車両  
為替差のプラス影響、物量増および販売価格の改善等により増収、増益。
- リテールファイナンス  
主に為替のプラス影響により増収、増益。
- 産業機械他  
自動車産業向けは、大型プレス、工作機械の売上が減少したこと等により減収、減益。  
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。

# <建設機械・車両> 2022年度 第3四半期（10-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+30.6%増収の8,607億円。
- ・CIS、日本で減少。北米、中南米、アジアで大きく増加。
- ・伝統市場の比率は46%、戦略市場の比率は54%。



# 2022年度 第3四半期（4-12月）の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+26.0%増収の2兆5,392億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+54.9%増益の3,466億円、売上高営業利益率は+2.5ポイント上昇し13.6%。
- ・ 純利益は前年同期比+49.1%増益の2,319億円。

金額単位：億円	2021年4-12月 ¥111.0/USD ¥130.6/EUR ¥82.8/AUD	2022年4-12月 ¥135.6/USD ¥140.0/EUR ¥93.2/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	20,147	25,392	+5,246	+26.0%
セグメント利益	2,206	3,462	+1,256	+57.0%
その他の営業収益（▲費用）	32	4	▲ 28	-
営業利益	2,238	3,466	+1,228	+54.9%
売上高営業利益率	11.1%	13.6%	+2.5ポイント	-
その他の収益（▲費用）	6	▲ 68	▲ 73	-
税引前純利益	2,243	3,398	+1,155	+51.5%
当社株主に帰属する当期純利益	1,555	2,319	+764	+49.1%

# 2022年度 第3四半期（4-12月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+28.4%増収の2兆3,696億円。セグメント利益は前年同期比+61.3%増益の3,095億円。セグメント利益率は+2.7ポイント上昇し13.1%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比+16.5%増収の636億円。セグメント利益は前年同期比+59.9%増益の212億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲3.8%減収の1,269億円。セグメント利益は前年同期比+3.8%増益の156億円。

□ % : 利益率 ( ): 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2021年4-12月		2022年4-12月		前年同期比			
					増減		増減率	
<b>売上高</b>	20,147		25,392		+5,246		+26.0%	
建設機械・車両	(18,407)	18,455	(23,632)	23,696	(+5,225)	+5,241	(+28.4%)	+28.4%
リテールファイナンス	(436)	546	(506)	636	(+70)	+90	(+16.1%)	+16.5%
産業機械他	(1,304)	1,319	(1,255)	1,269	(▲50)	▲50	(▲3.8%)	▲3.8%
消去	▲173		▲208		▲35		-	
<b>セグメント利益</b>	□ 10.9%	2,206	□ 13.6%	3,462	□ +2.7ポイント	+1,256	+57.0%	
建設機械・車両	□ 10.4%	1,919	□ 13.1%	3,095	□ +2.7ポイント	+1,177	+61.3%	
リテールファイナンス	□ 24.3%	133	□ 33.4%	212	□ +9.1ポイント	+80	+59.9%	
産業機械他	□ 11.4%	151	□ 12.3%	156	□ +0.9ポイント	+6	+3.8%	
消去または全社	3		▲3		▲6		-	

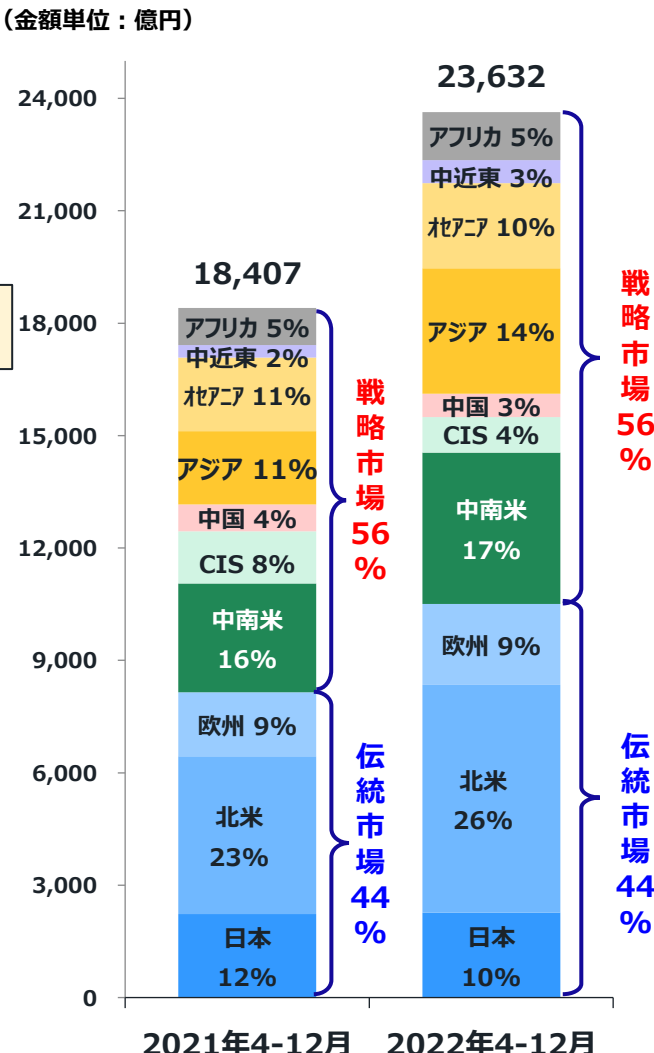
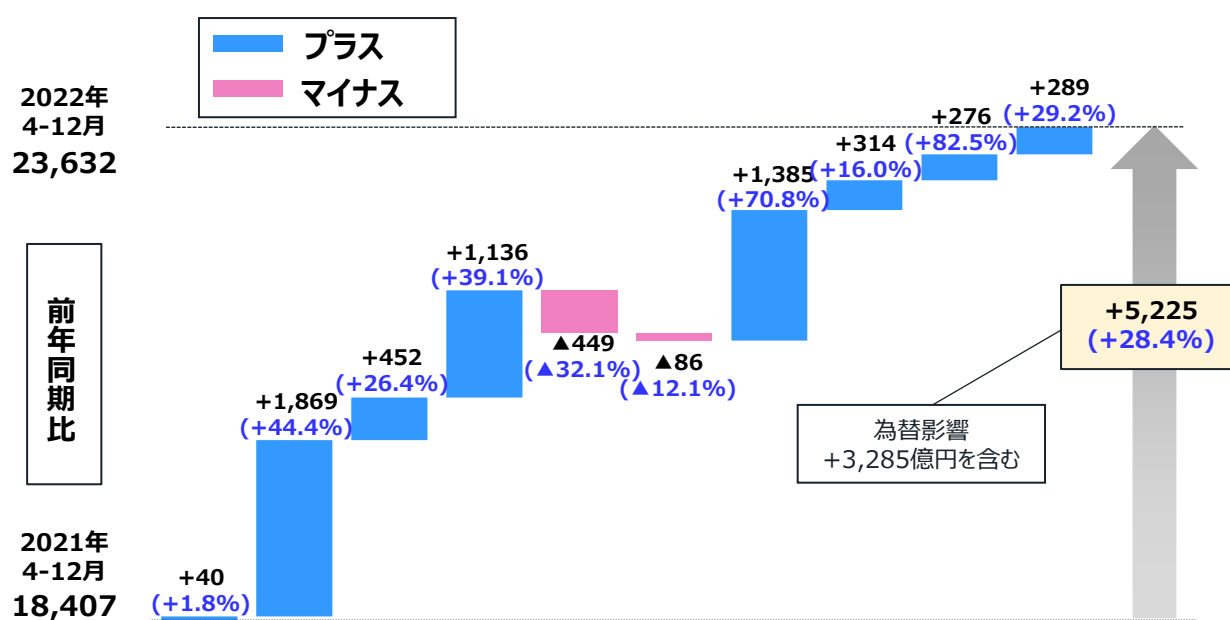
## 各セグメントの状況：

- **建設機械・車両**  
為替差のプラス影響、物量増、販売価格の改善等により増収、増益。
- **リテールファイナンス**  
前年同期に一部リース車を中古車として販売した影響があったものの、新規取組高の増加や為替のプラス影響等により増収、貸倒引当金の減少や為替のプラス影響により増益。
- **産業機械他**  
自動車産業向けは、主に大型プレスの売上が減少したことにより減収、減益。  
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の売上が好調であったこと等により増収、増益。



# <建設機械・車両> 2022年度 第3四半期（4-12月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+28.4%増収の2兆3,632億円。
- ・CIS、中国を除くすべての地域で増加。北米、アジア、中南米で大きく増加。
- ・伝統市場の比率は44%、戦略市場の比率は56%。

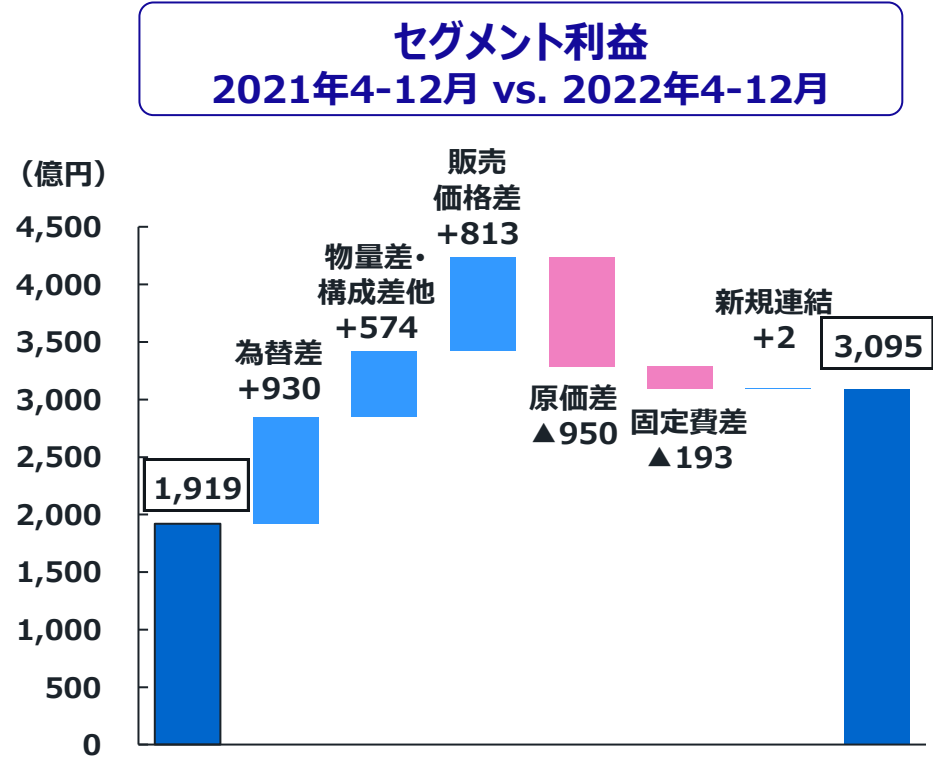
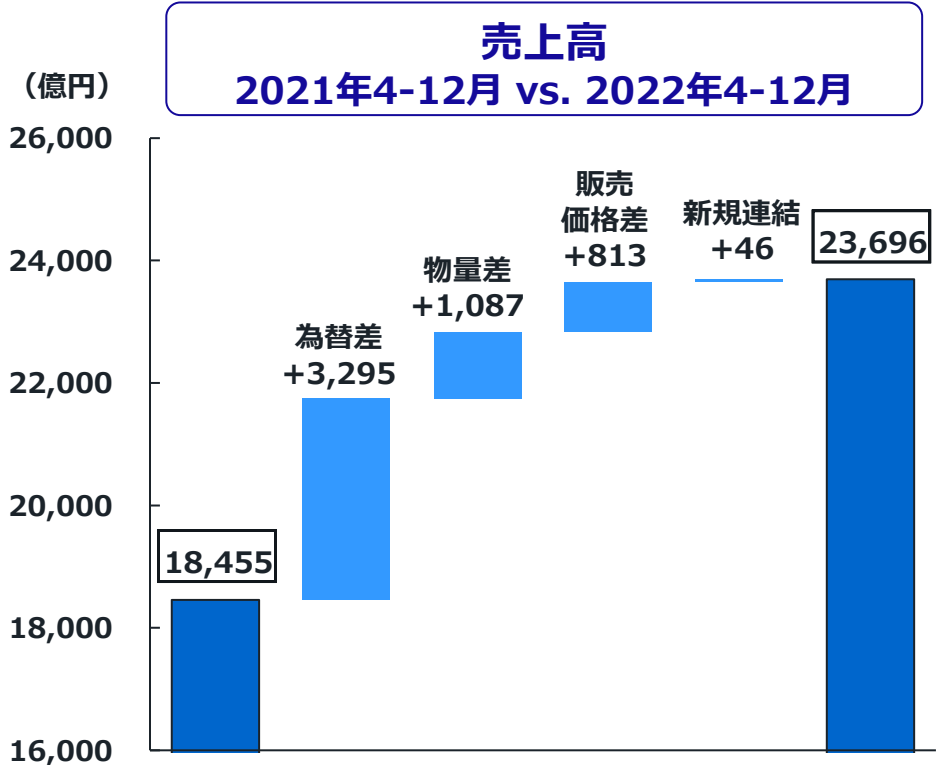


(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2021年 4-12月	2,227	4,210	1,711	2,902	1,399	712	1,955	1,966	335	990	18,407
2022年 4-12月	2,267	6,080	2,163	4,037	949	626	3,340	2,280	611	1,279	23,632
増減	+40	+1,869	+452	+1,136	▲449	▲86	+1,385	+314	+276	+289	+5,225



# <建設機械・車両> 2022年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益の増減要因

- ・売上高は、為替差のプラス影響、物量増、販売価格の改善等により、前年同期比+5,241億円の増収。
- ・セグメント利益は、為替および販売価格のプラス影響等により、前年同期比+1,177億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+2.7ポイント上昇し13.1%。



¥111.0/USD  
¥130.6/EUR  
¥82.8/AUD

■ プラス要因  
■ マイナス要因

¥135.6/USD  
¥140.0/EUR  
¥93.2/AUD

■ プラス要因  
■ マイナス要因

10.4%

売上高セグメント利益率

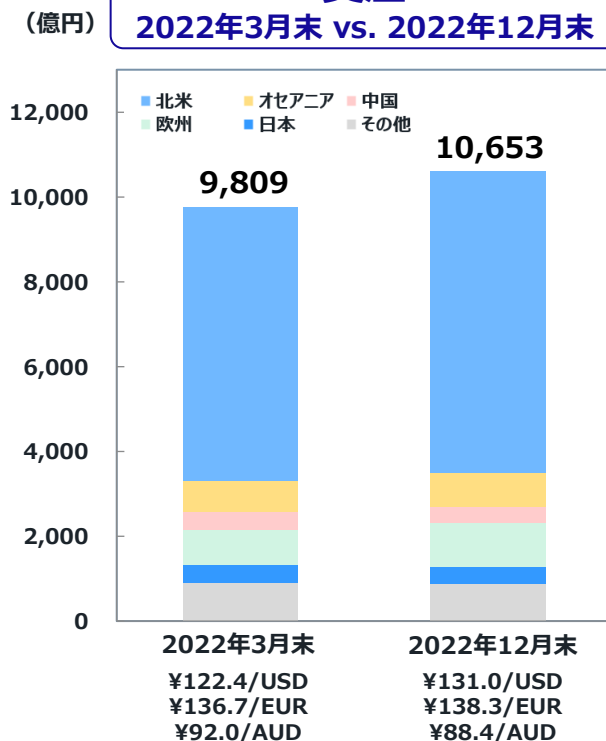
13.1%

# <リテールファイナンス> 2022年度 第3四半期（4-12月）の状況

- ・資産は、為替の影響や新規取組高の増加により、前年度末比+844億円の増加。
- ・新規取組高は、為替の影響や建設機械・車両の販売増に伴い、前年同期比+1,562億円の増加。
- ・売上高は、前年同期に一部リース車を中古車として販売した影響があったものの、新規取組高の増加や為替のプラス影響により前年同期比+90億円の増収。
- ・セグメント利益は、貸倒引当金の減少や為替のプラス影響等により、前年同期比+80億円の増益。

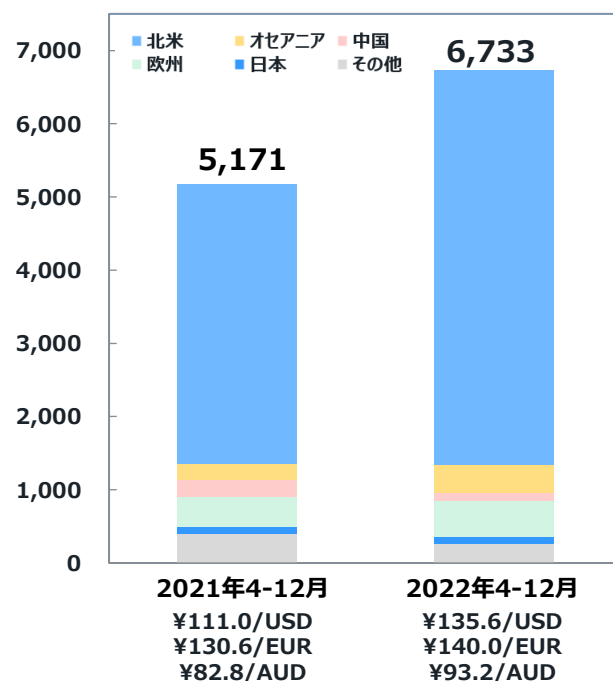
## 資産

2022年3月末 vs. 2022年12月末



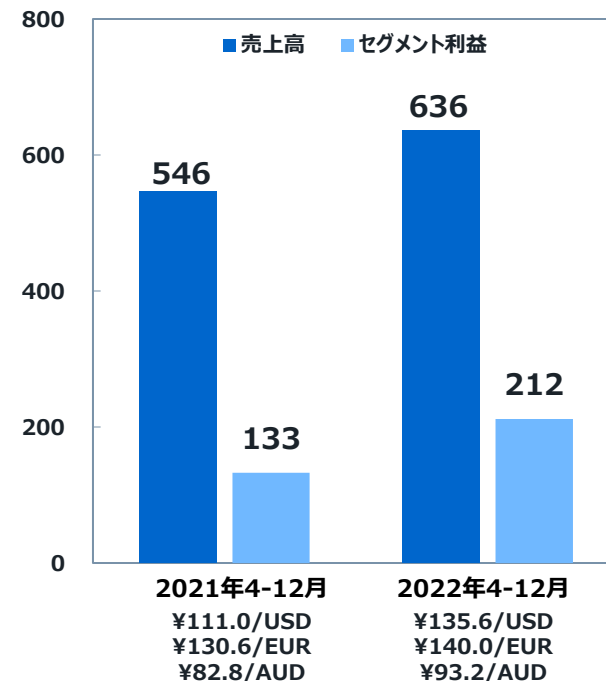
## 新規取組高

2021年4-12月 vs. 2022年4-12月



## 収益

2021年4-12月 vs. 2022年4-12月

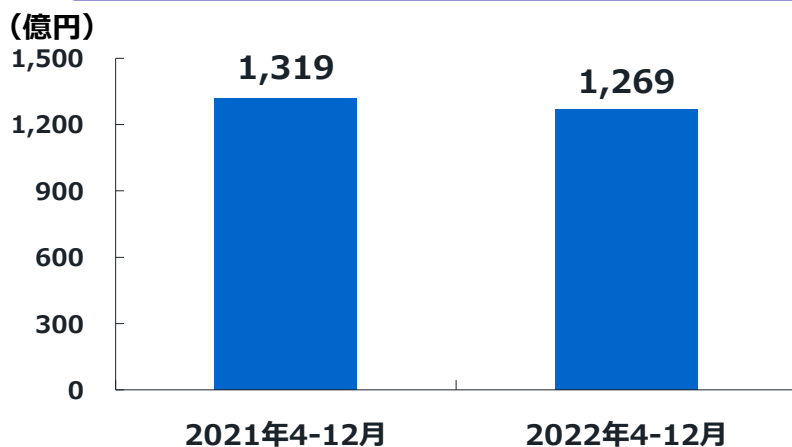


金額単位：億円	2022年3月末	2022年12月末	前年度末比
借入金	7,342	7,991	+649
ネットベースの借入金	7,315	7,816	+501
ネットD/Eレシオ	3.51	3.41	▲0.10ポイント

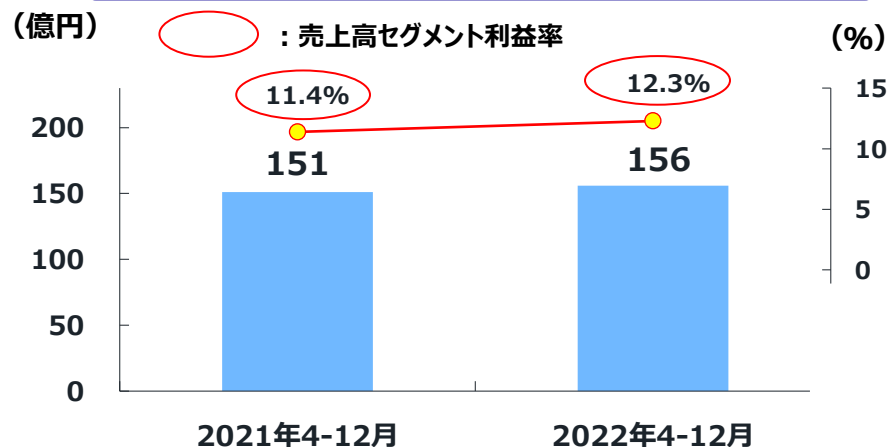
# <産業機械他> 2022年度 第3四半期（4-12月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は前年同期比▲3.8%減収の1,269億円、セグメント利益は前年同期比+3.8%増益の156億円。
- ・自動車産業向けは、主に大型プレスの上売が減少したことにより減収、減益。半導体産業向けは、エキシマレーザー関連の上売が好調であったこと等により増収、増益。
- ・売上高セグメント利益率は12.3%。

**売上高**  
2021年4-12月 vs. 2022年4-12月



**セグメント利益**  
2021年4-12月 vs. 2022年4-12月



## 売上高の内訳

(億円)	2021年 4-12月	2022年 4-12月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	378	267	▲110	▲29.2%
コマツNTC	269	230	▲39	▲14.4%
ギガフォトン	393	446	+53	+13.4%
その他	279	325	+46	+16.5%
合計	1,319	1,269	▲50	▲3.8%

# 連結貸借対照表

- ・総資産は、主に棚卸資産の増加および為替の影響で、前年度末比+4,361億円増加の4兆7,836億円。
- ・為替およびサプライチェーン混乱の影響もあり棚卸資産が増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比▲1.1ポイント低下し50.3%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2022年3月末 ¥122.4/USD ¥136.7/EUR ¥92.0/AUD	2022年12月末 ¥131.0/USD ¥138.3/EUR ¥88.4/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	3,167	3,361	+195
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	14,564	15,545	+981
棚卸資産	9,880	12,440	+2,560
有形固定資産	8,197	8,308	+111
その他資産	7,666	8,181	+515
<b>資産合計</b>	<b>43,475</b>	<b>47,836</b>	<b>+4,361</b>
支払手形・買掛金	3,390	3,381	▲9
借入金・社債 [b]	9,474	11,633	+2,159
その他負債	7,049	7,440	+391
<b>負債合計</b>	<b>19,912</b>	<b>22,454</b>	<b>+2,541</b>
（株主資本比率）	（51.4%）	（50.3%）	（▲1.1ポイント）
株主資本	22,325	24,077	+1,751
非支配持分	1,238	1,306	+69
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>43,475</b>	<b>47,836</b>	<b>+4,361</b>
ネットバースの借入金・社債 [b-a]	○0.28 6,307	○0.34 8,272	+1,965
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	○▲0.05	○0.02	

## Ⅱ.2022年度の業績見通し

# 2022年度の業績見通し

・年間の業績見通しは前回の2022年度見通し（10月）より変更無し。

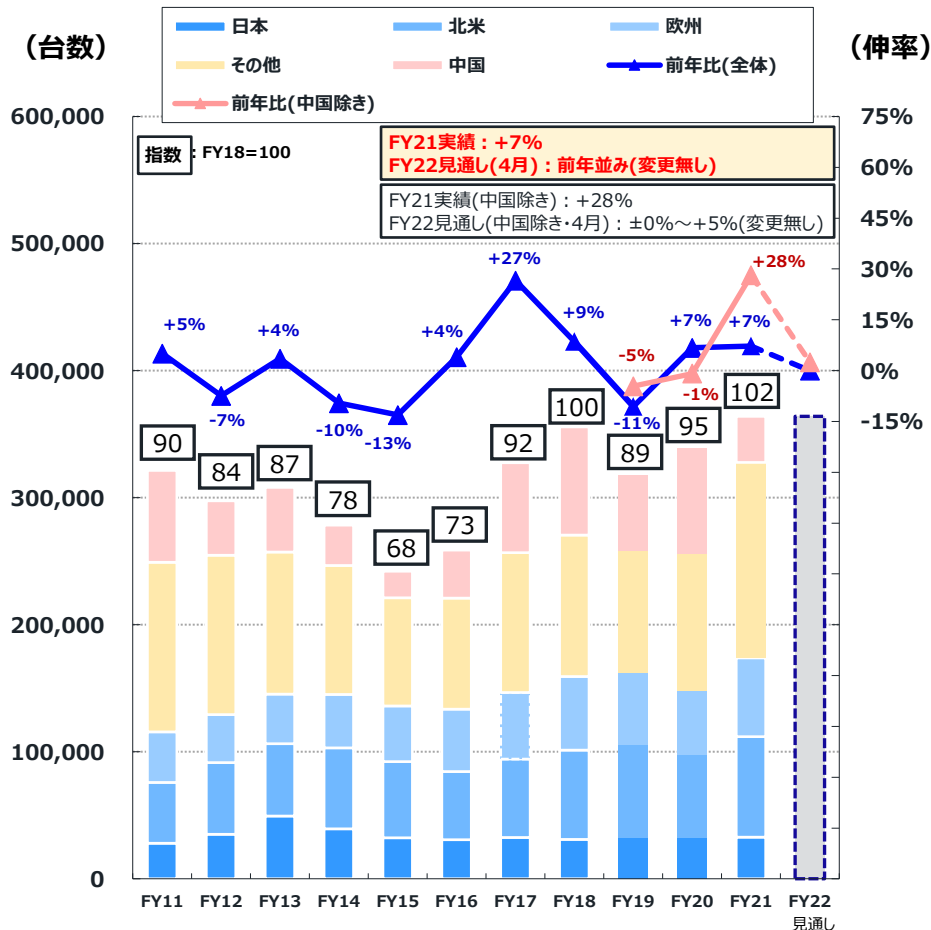
下期為替の前提 1ドル:140円、1ユーロ:137円、1豪ドル:89.0円

金額単位：億円	2021年度 (A) ¥112.1/USD ¥130.4/EUR ¥82.7/AUD	2022年度 (10月見通し) (B) ¥135.8/USD ¥137.5/EUR ¥91.0/AUD	2022年度 (4月見通し) (C) ¥118.0/USD ¥129.0/EUR ¥88.0/AUD	前年比 (B) - (A)	
				増減	増減率
連結売上高	28,023	34,600	30,000	+6,577	+23.5%
セグメント利益	3,155	4,450	3,490	+1,295	+41.0%
その他の営業収益(▲費用)	15	▲ 50	▲ 30	▲ 65	-
営業利益	3,170	4,400	3,460	+1,230	+38.8%
売上高営業利益率	11.3%	12.7%	11.5%	+1.4 ㊦	-
その他の収益(▲費用)	76	▲ 80	▲ 125	▲ 156	-
税引前純利益	3,246	4,320	3,335	+1,074	+33.1%
当社株主に帰属する当期純利益	2,249	2,980	2,260	+731	+32.5%
ROE	10.9%	12.4%	10.0%	+1.5 ㊦	
1株当たり配当金（円）	96円	128円	96円	+32円	
連結配当性向	40.3%	40.6%	40.2%		

# ＜建設機械・車両＞ 主要7建機の需要推移と見通し

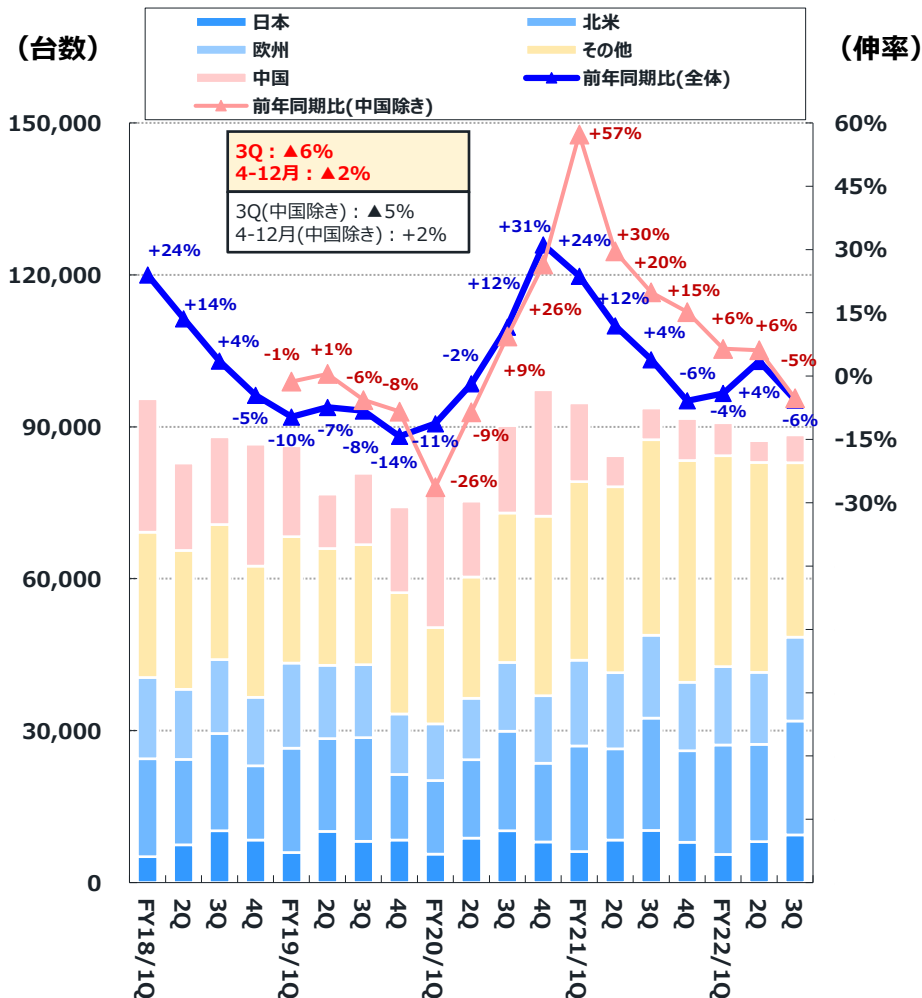
- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比▲6%の減少。中国を除く地域では前年同期比▲5%の減少。
- ・2022年度の需要は、前年並み、中国を除く地域では前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

## 主要7建機 年度別需要推移



【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

## 主要7建機 四半期別需要推移

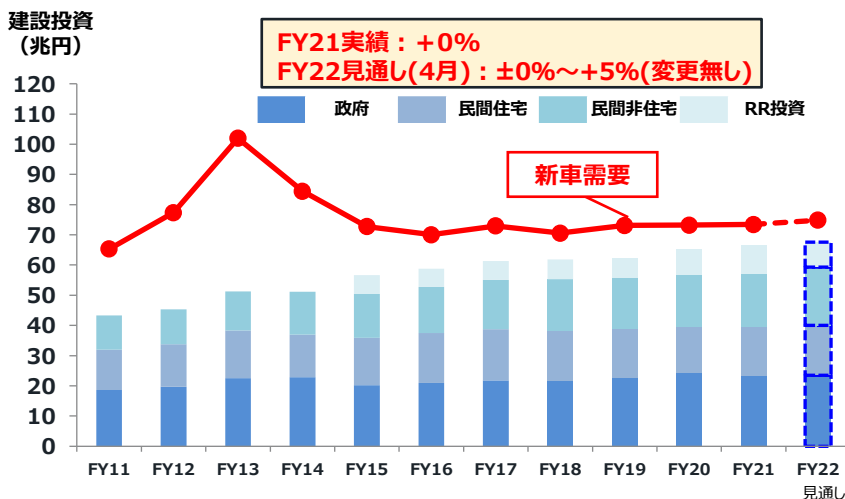




# <建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

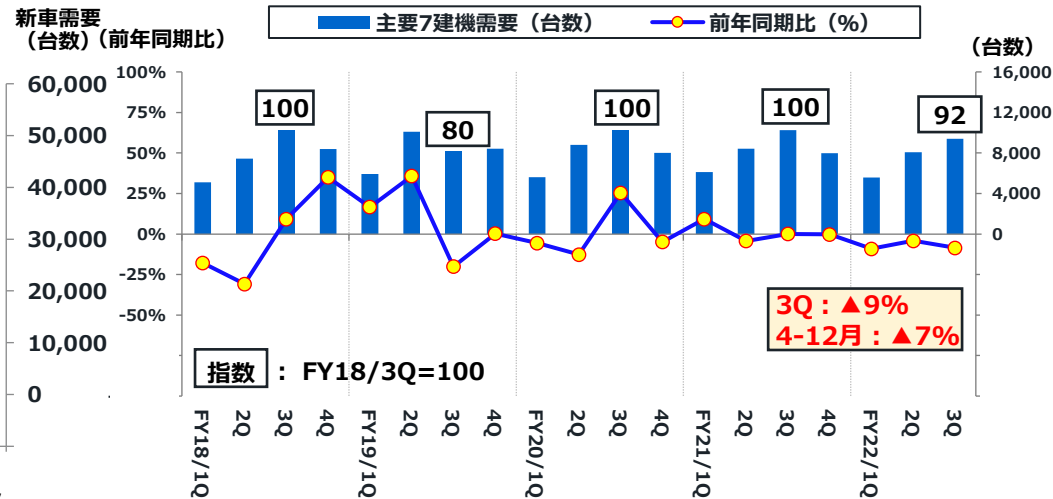
- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比▲9%の減少。サプライチェーンの混乱による影響で供給が伸びず、需要は減少。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

## 新車需要（主要7建機）と建設投資

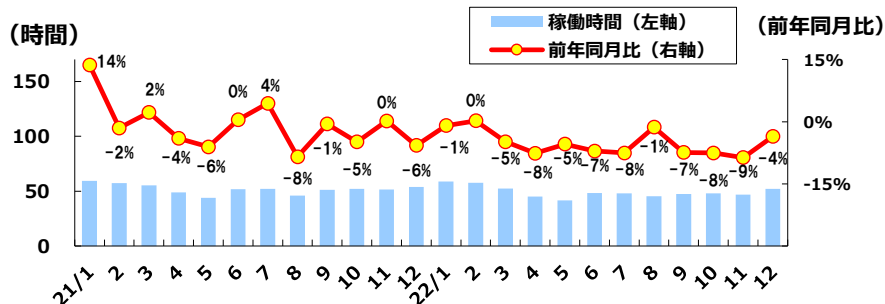


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

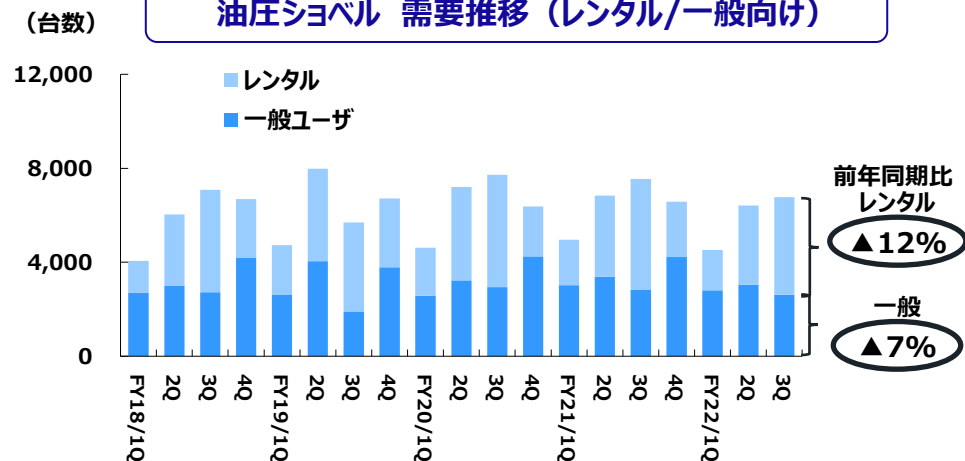
## 主要7建機 四半期別需要推移



## Komtrax（日本）月平均稼働時間推移



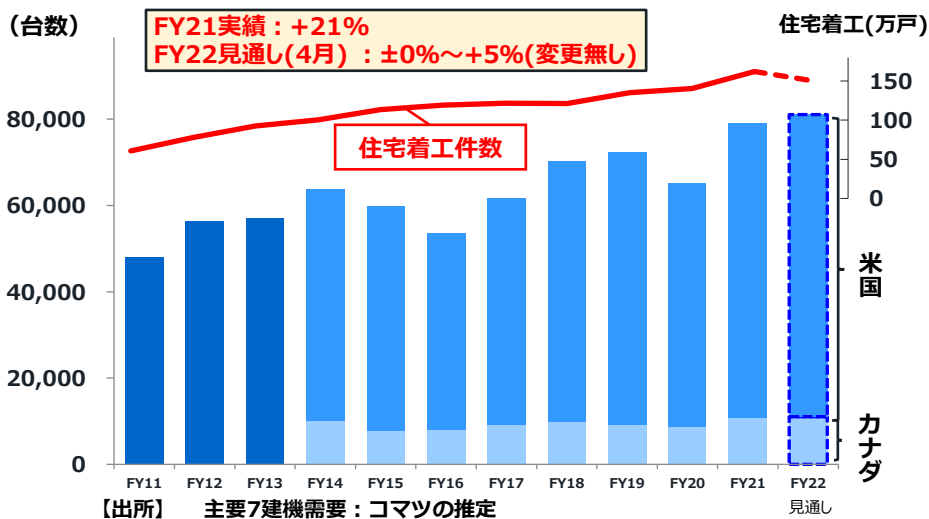
## 油圧ショベル 需要推移（レンタル/一般向け）



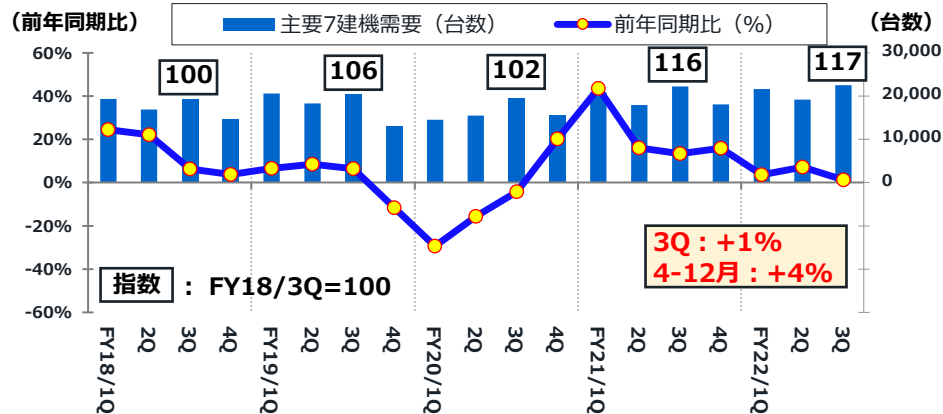
# ＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比+1%の増加。インフラ向け、レンタル向けで増加。住宅、非住宅向けは減少。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

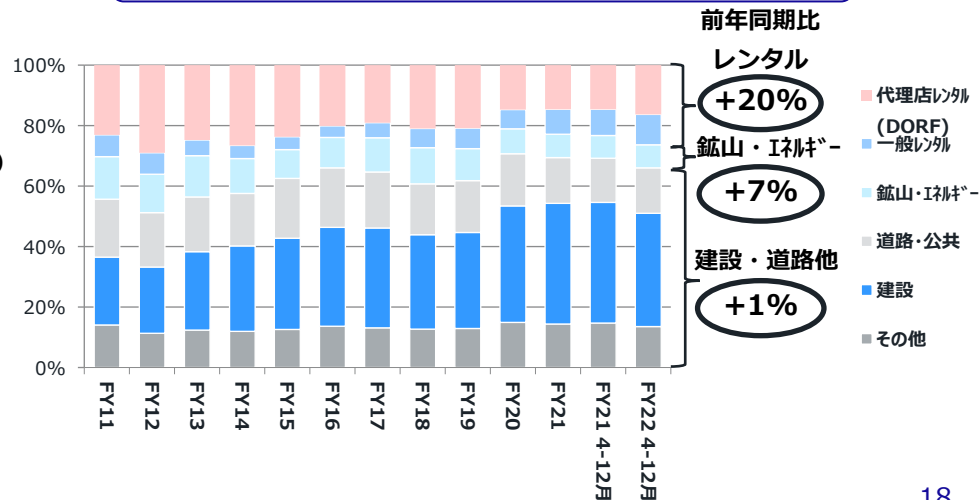
## 主要7建機 需要推移と住宅着工件数



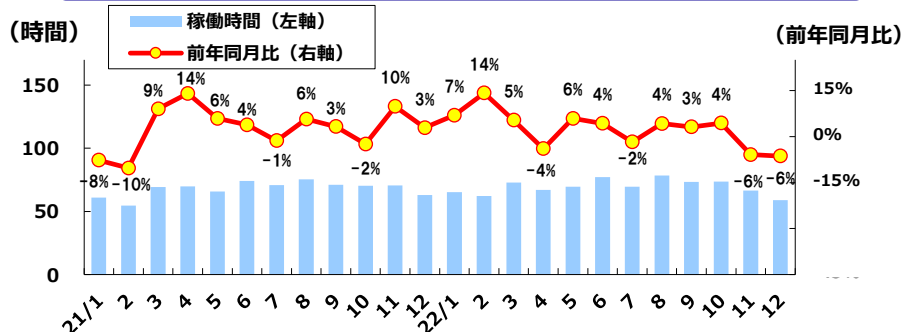
## 主要7建機 四半期需要推移



## セグメント別需要構成比 (台数ベース)



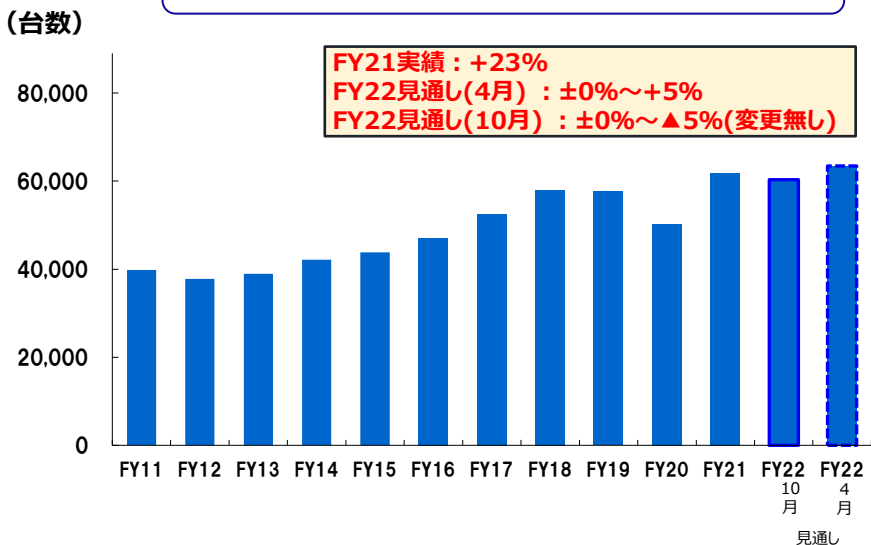
## Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



# <建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：③ 欧州

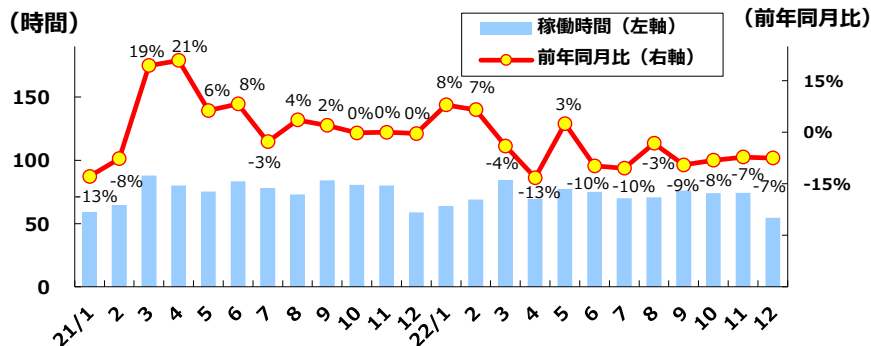
- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比+1%の増加。サプライチェーンの混乱による影響等で、需要は伸び悩み。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～▲5%の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 主要7建機 年度別需要推移

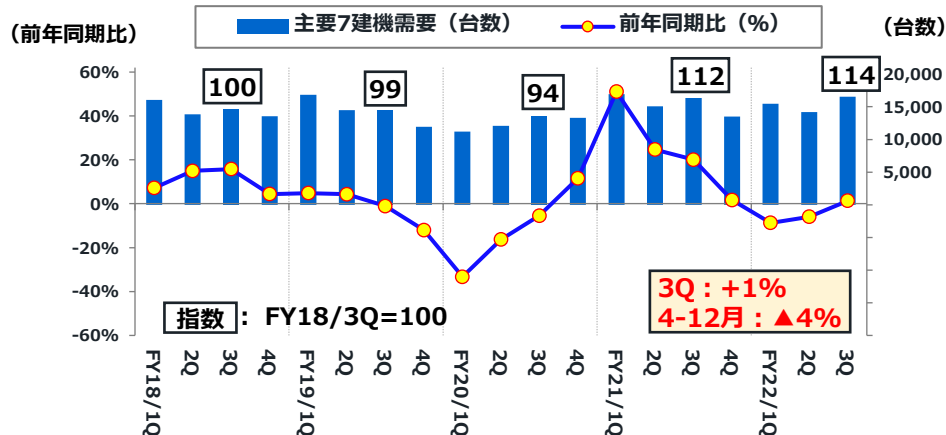


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

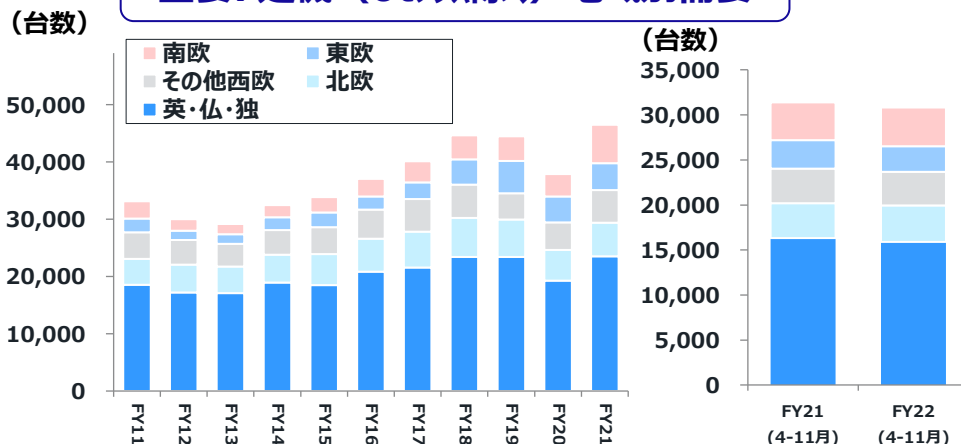
## Komtrax (欧州) 月平均稼働時間推移



## 主要7建機 四半期需要推移



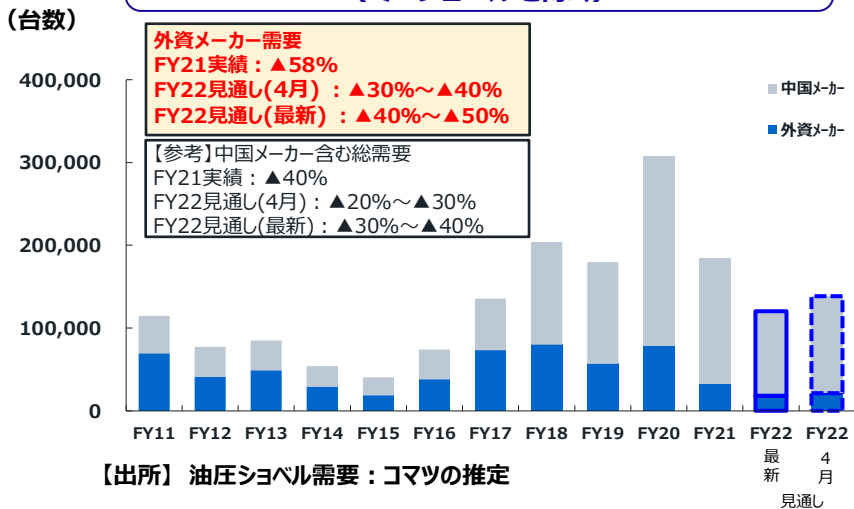
## 主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



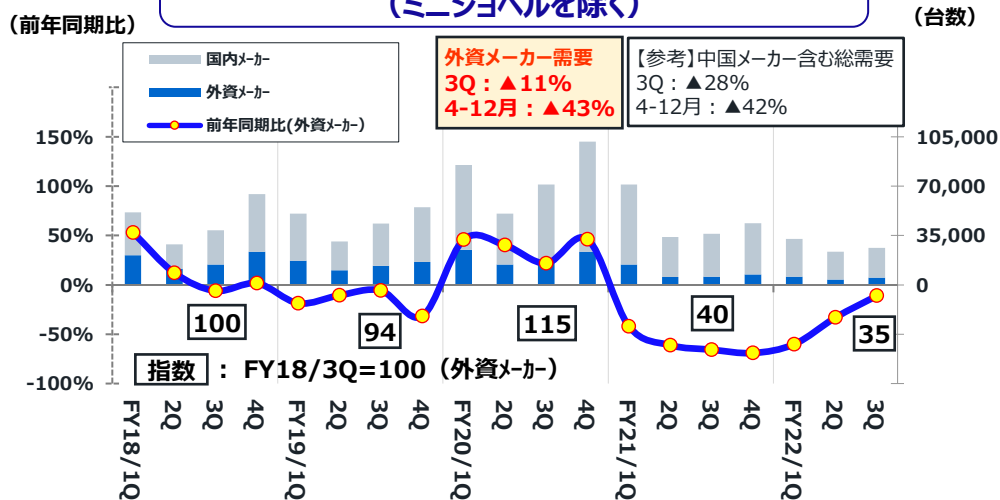
# ＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：④ 中国

- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比▲11%の減少。
- ・2022年度の需要は、前年比▲40%～▲50%の見通し（4月見通しから変更）。

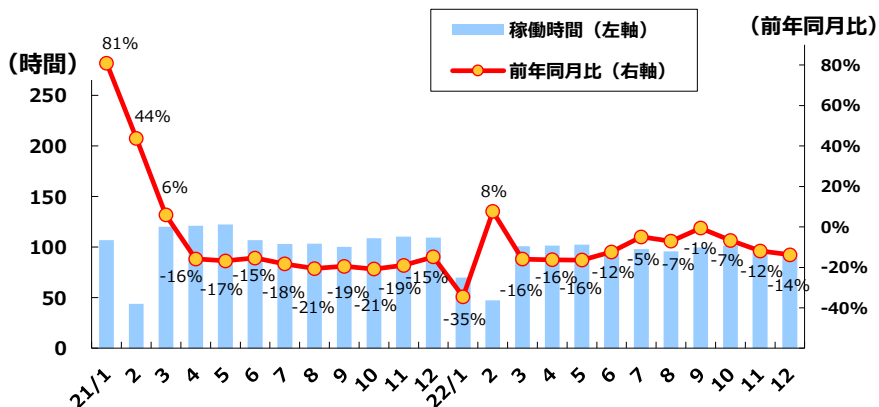
## 油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)



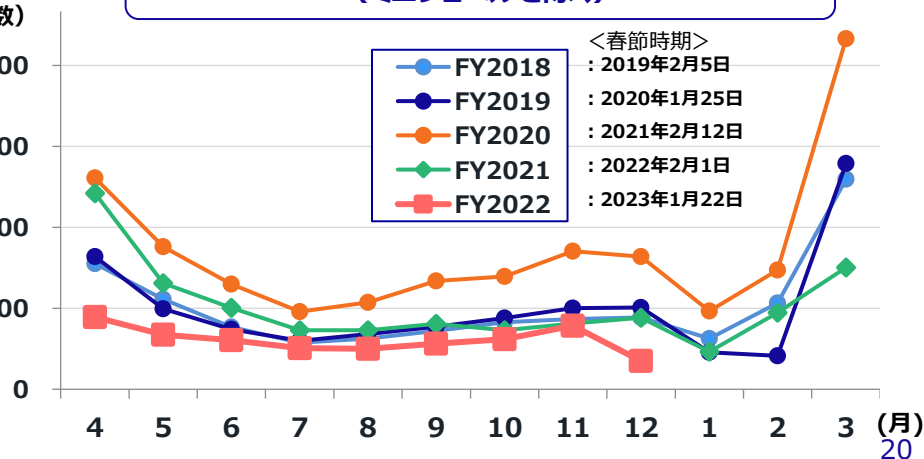
## 油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



## Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



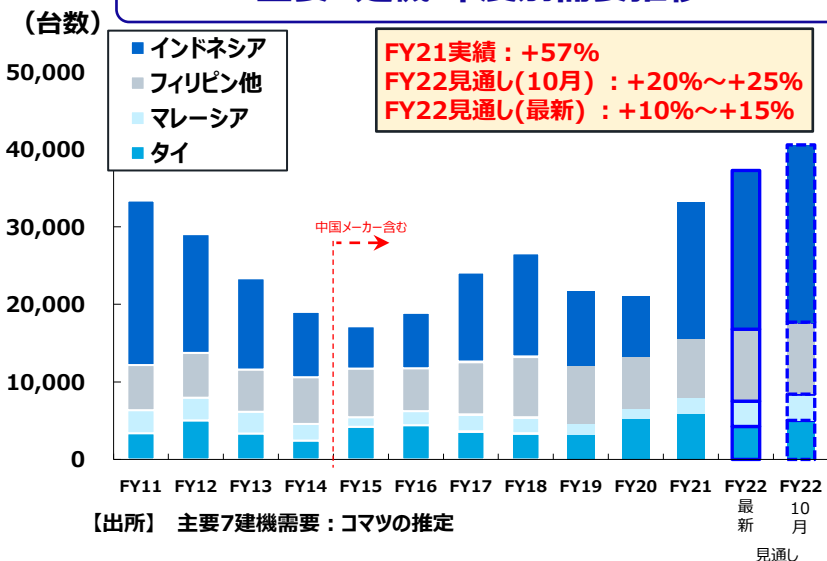
## 中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



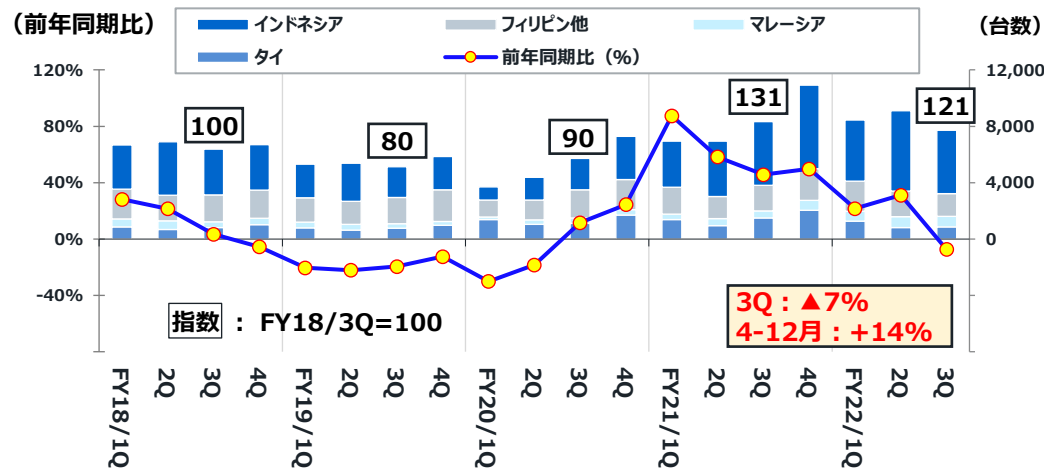
# <建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

- ・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比▲7%の減少。鉱山機械の需要は伸張したが、一般建機の需要が減少。
- ・2022年度の需要は、前年比+10%~+15%の見通し（10月見通しから変更）。

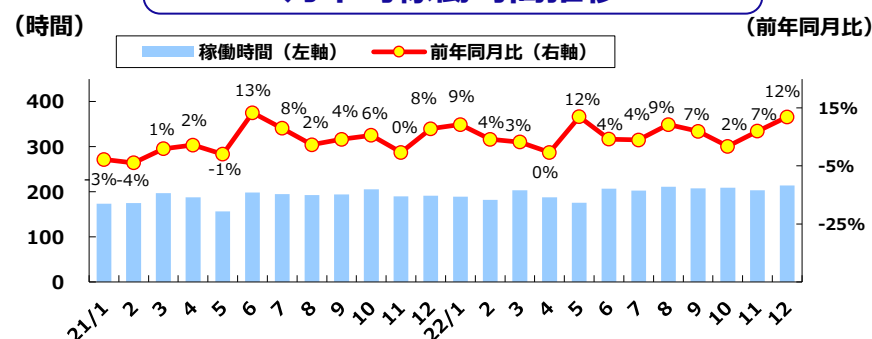
## 主要7建機 年度別需要推移



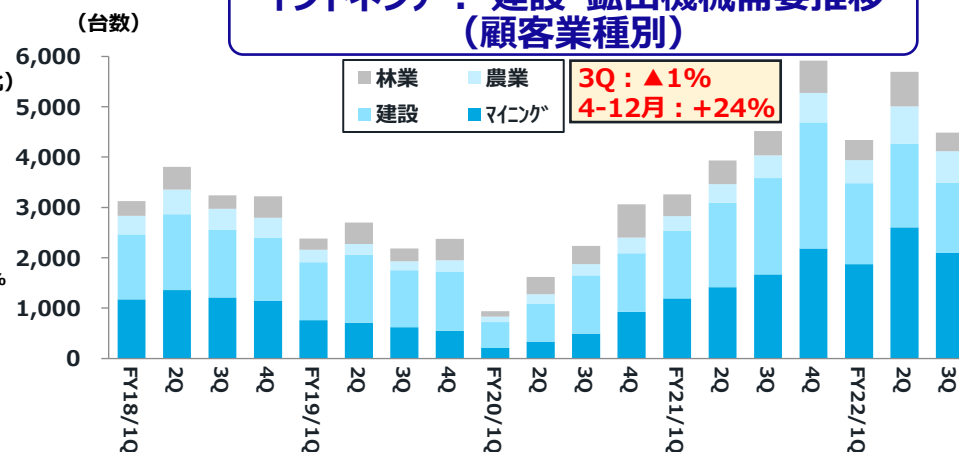
## 主要7建機 四半期需要推移



## Komtrax（インドネシア） 月平均稼働時間推移



## インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 （顧客業種別）

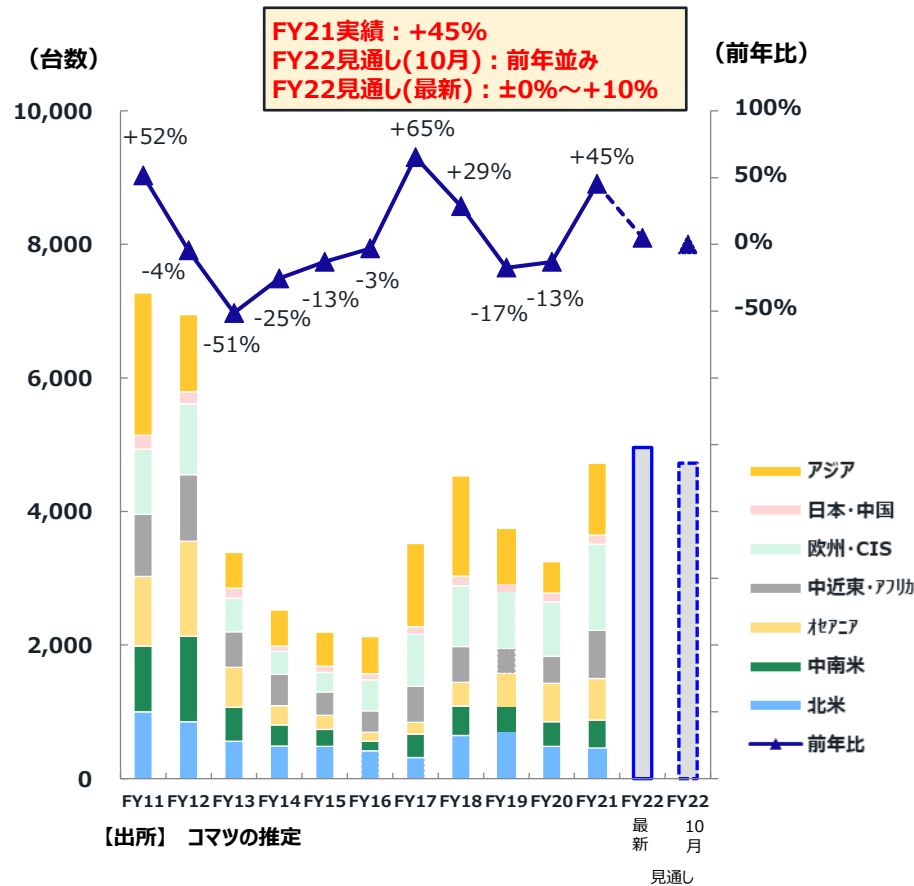


# ＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

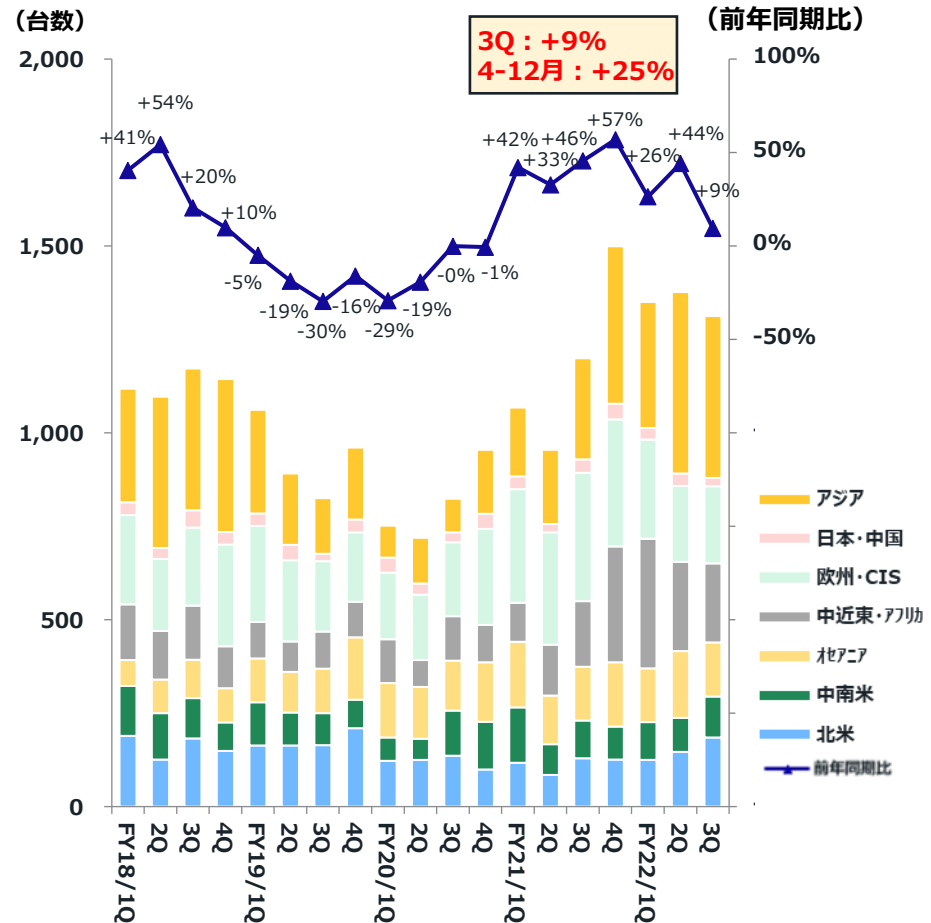
・2022年度第3四半期の需要は、前年同期比+9%の増加。CISは需要が減少、インドネシアなどアジアで需要が大きく増加。  
 ・2022年度の需要は、前年比±0%～+10%の見通し（10月見通しから変更）。

## 鉱山機械 年度別需要推移

・ダンプトラック：75 t（HD785）以上    ・フルパワー：525HP（D375）以上  
 ・エクスカベータ：200 t（PC2000）以上    ・ホイールダ（機械駆動）：810HP（WA800）以上  
 ・モーターダ：280HP（GD825）以上



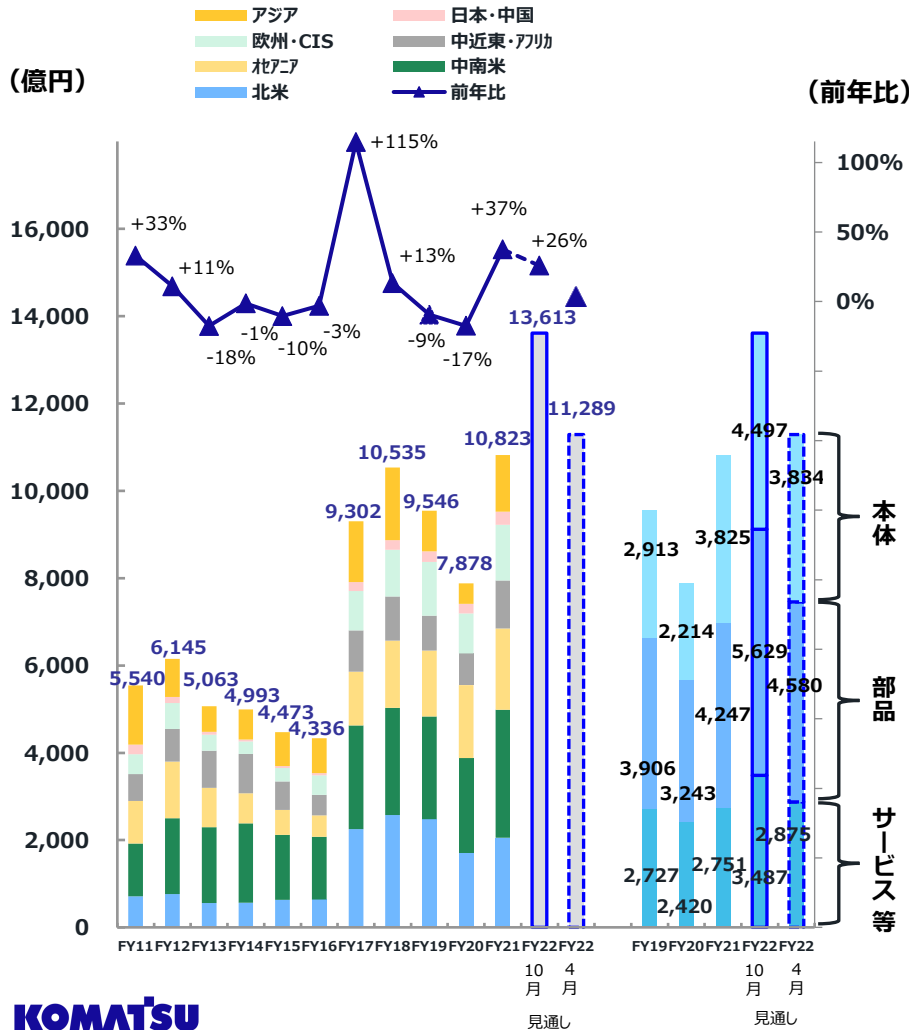
## 鉱山機械 四半期別需要推移



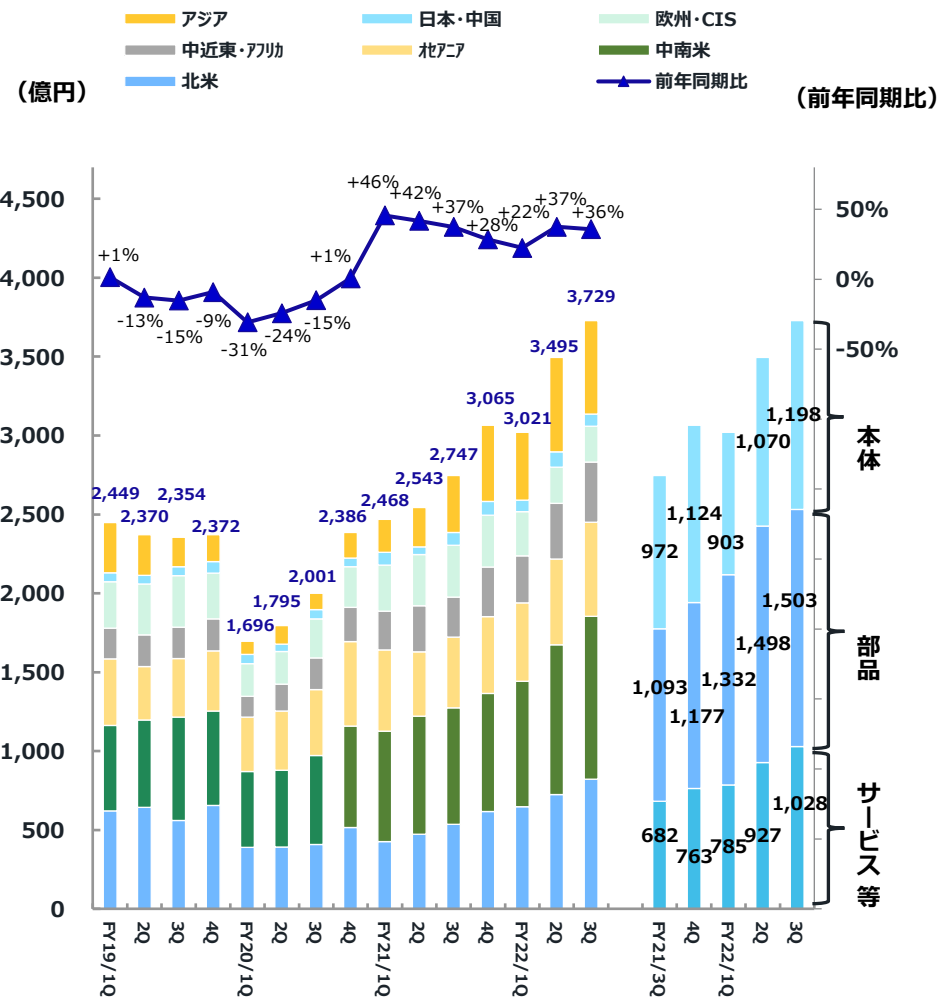
# <建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2022年度第3四半期の売上高は、前年同期比+36%増収の3,729億円。CISで減少、アジア、北米などで増加。
- ・2022年度の売上高は、前年比+26%増収の1兆3,613億円の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



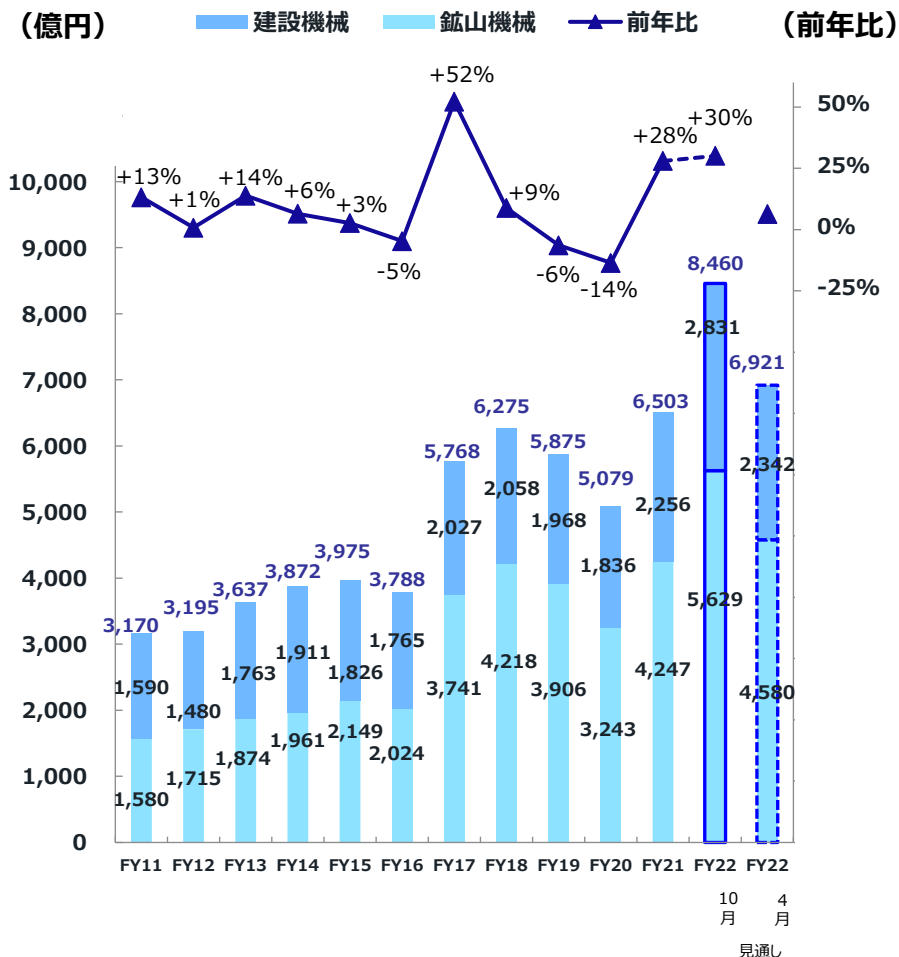
## 鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



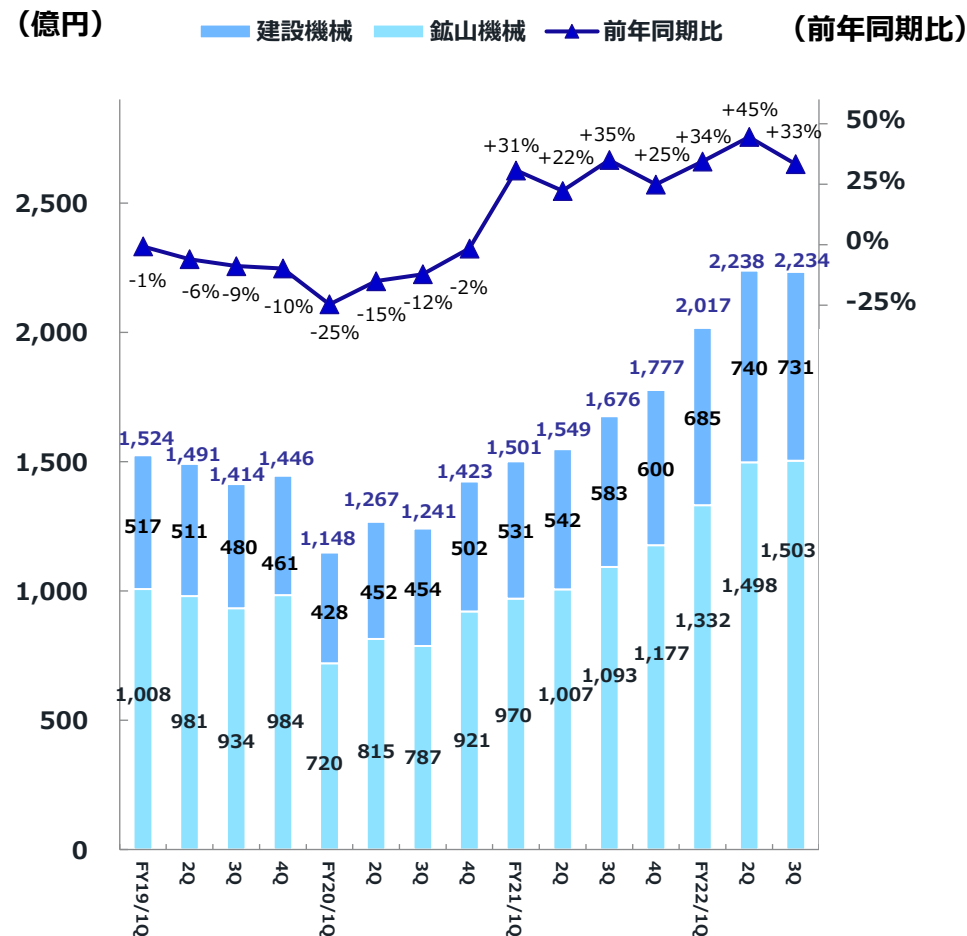
# ＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2022年度第3四半期の部品売上高は、前年同期比+33%増収の2,234億円。CIS、中国など、一部の地域を除き増加。
- ・2022年度の部品売上高は、前年比+30%増収の8,460億円の見通し（10月見通しから変更無し）。

## 部品 年度別売上高



## 部品 四半期別売上高



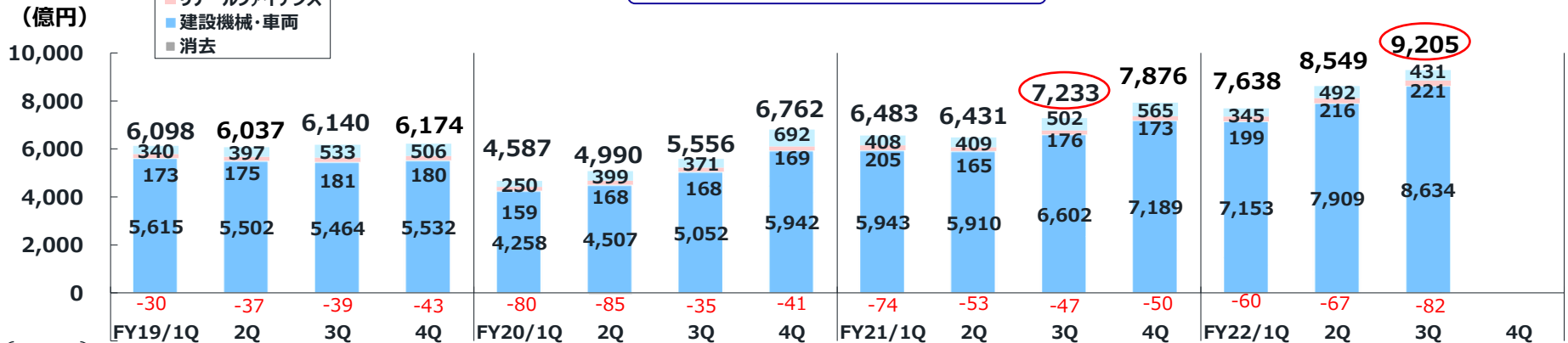


## 参考資料

# 【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

- 産業機械他
- リテールファイナンス
- 建設機械・車両
- 消去

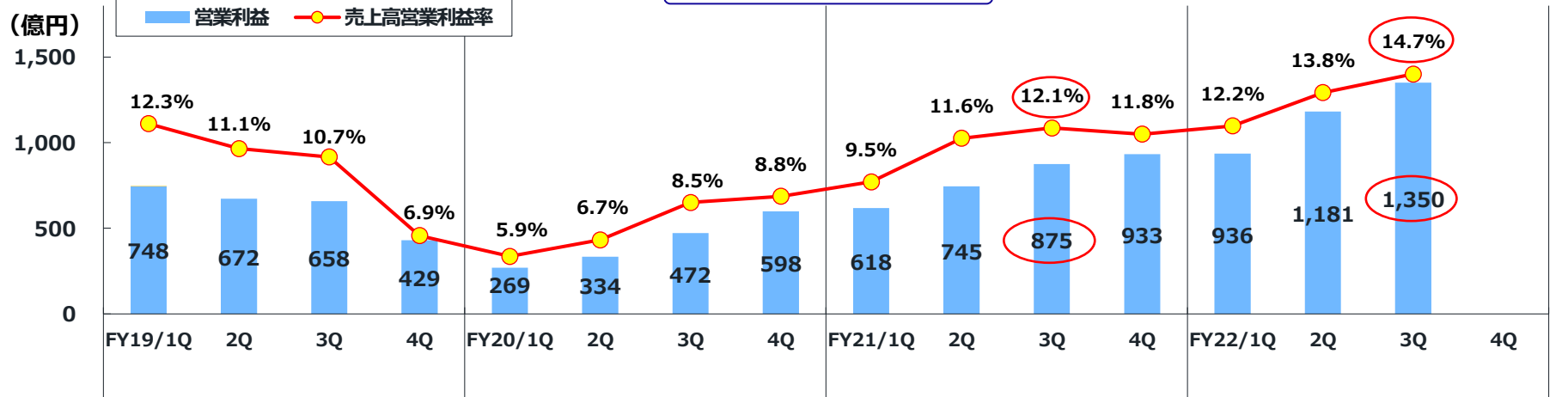
## 連結売上高



為替レート

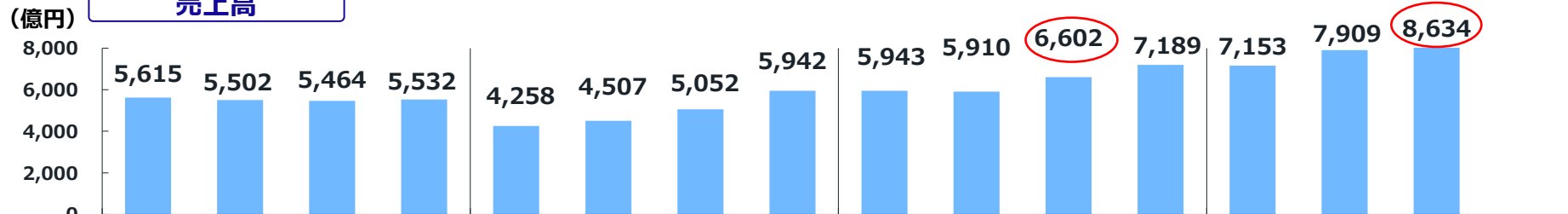
	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	

## 営業利益



# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

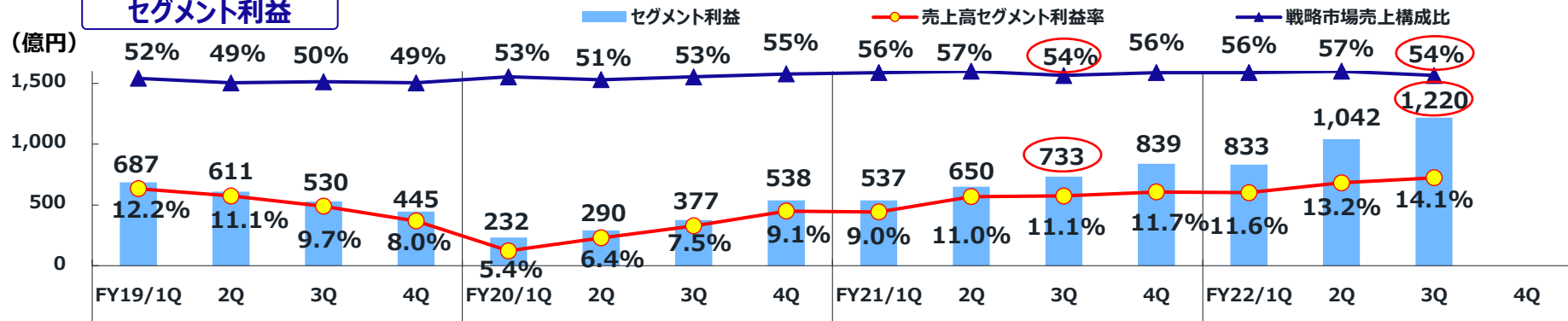
## 売上高



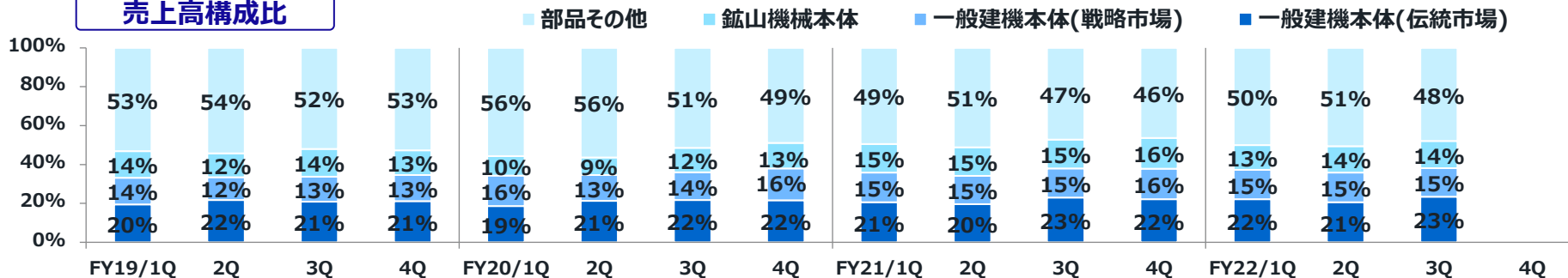
為替  
レート

	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	

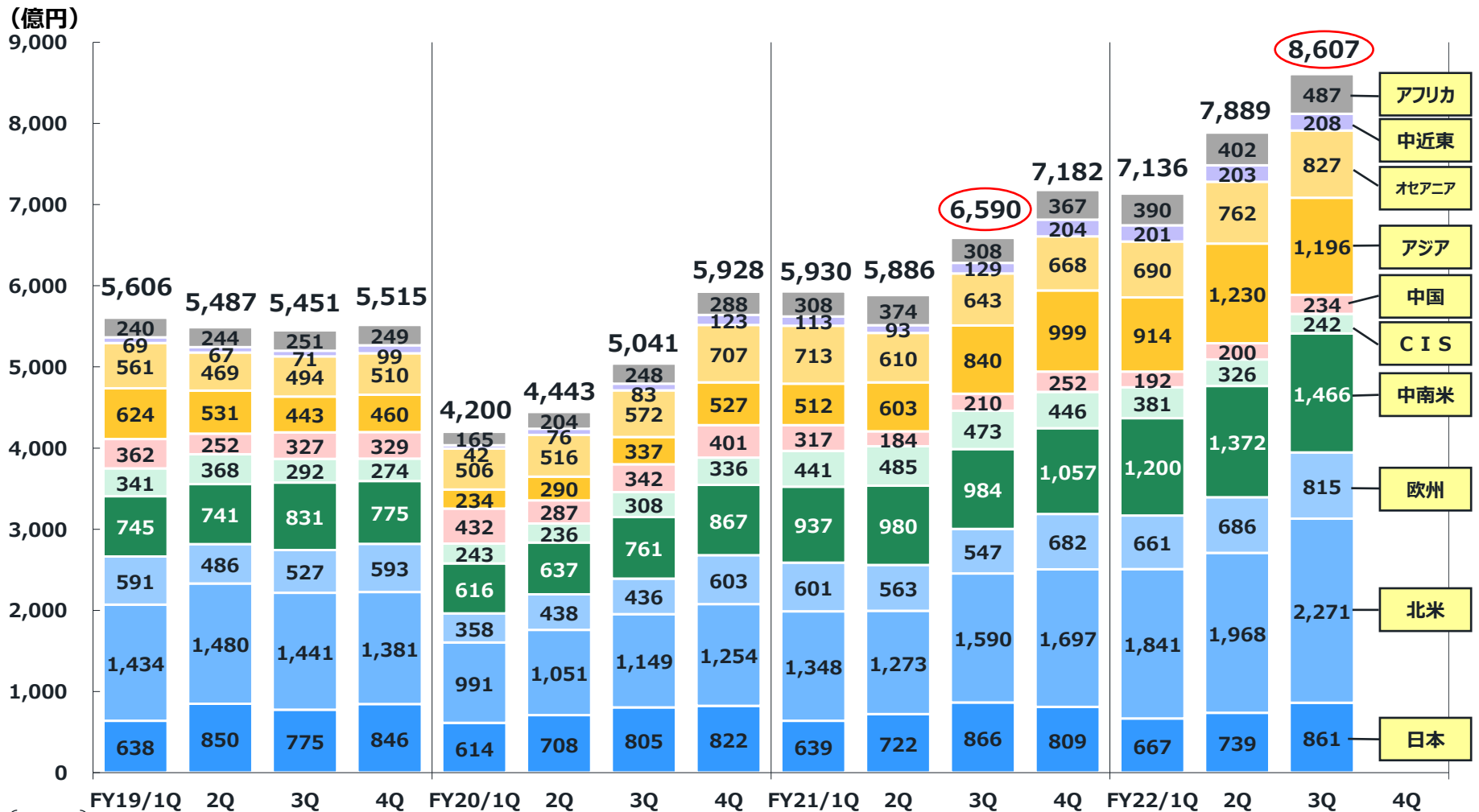
## セグメント利益



## 売上高構成比



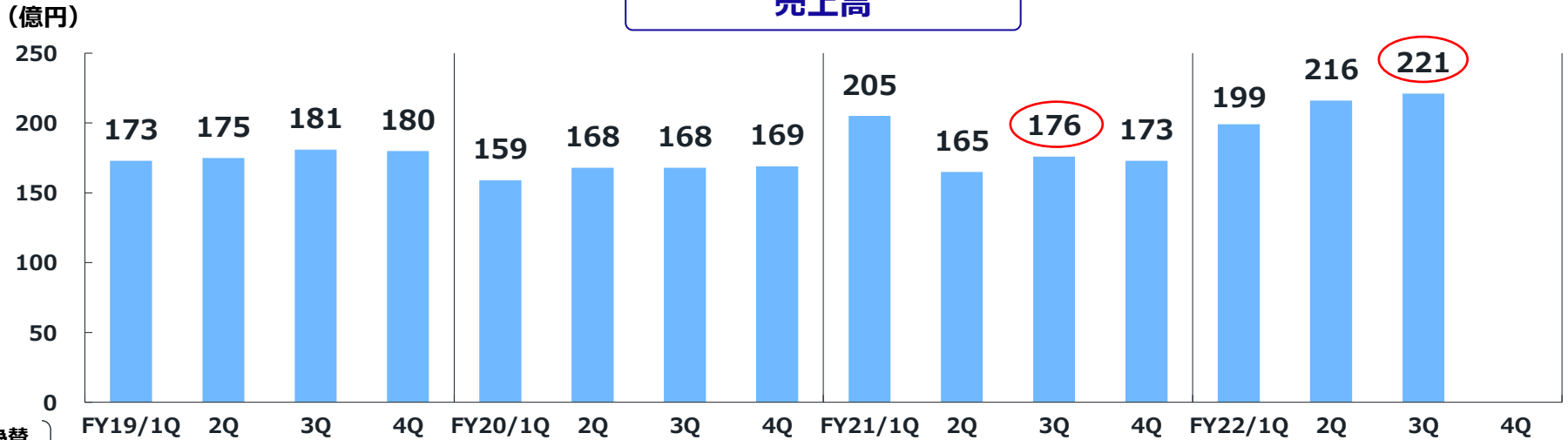
# 【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替レート	FY19				FY20				FY21				FY22			
	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	

# 【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

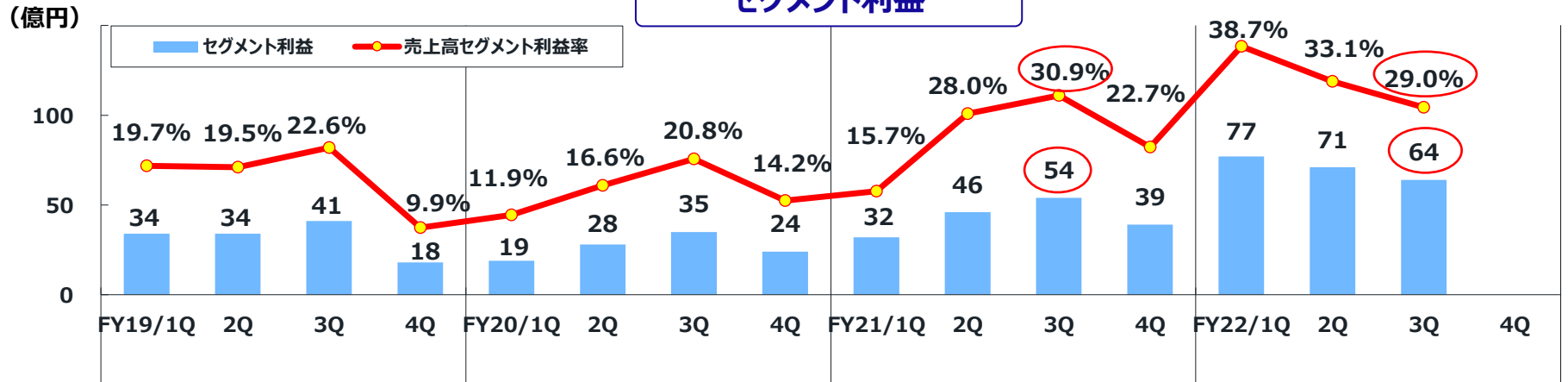
## 売上高



為替  
レート

	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1	136.1	143.6	-
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9	139.3	144.0	-
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0	93.9	93.8	-

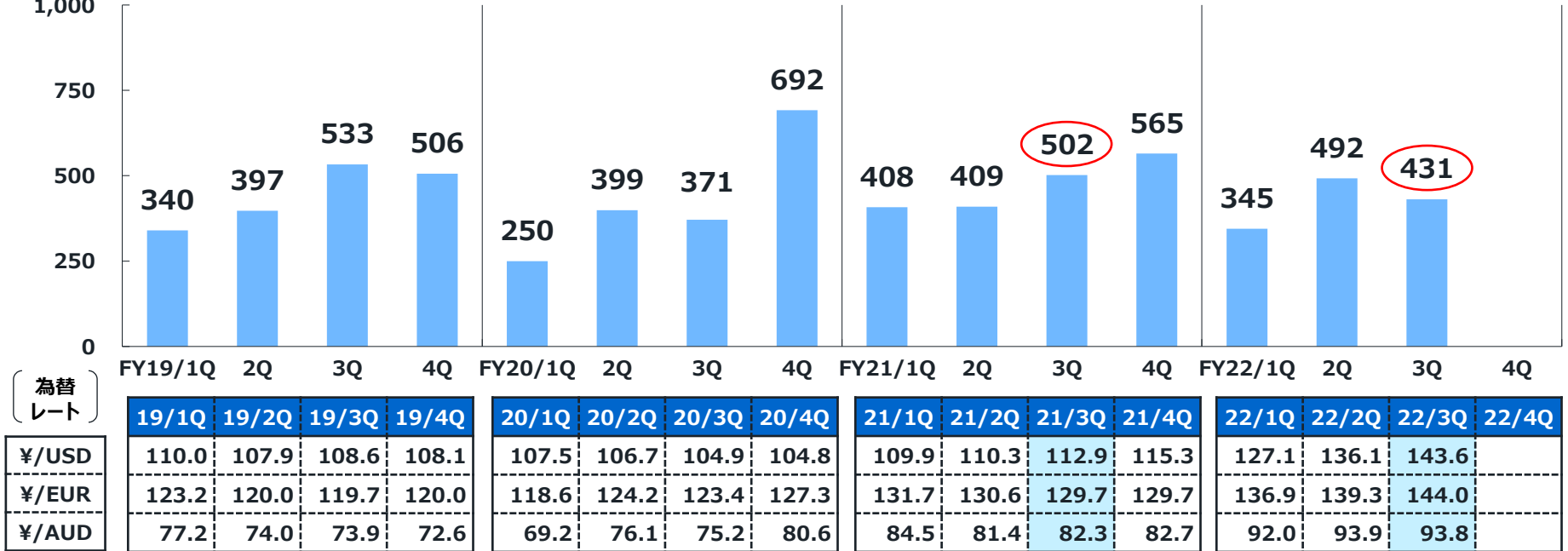
## セグメント利益



# 【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

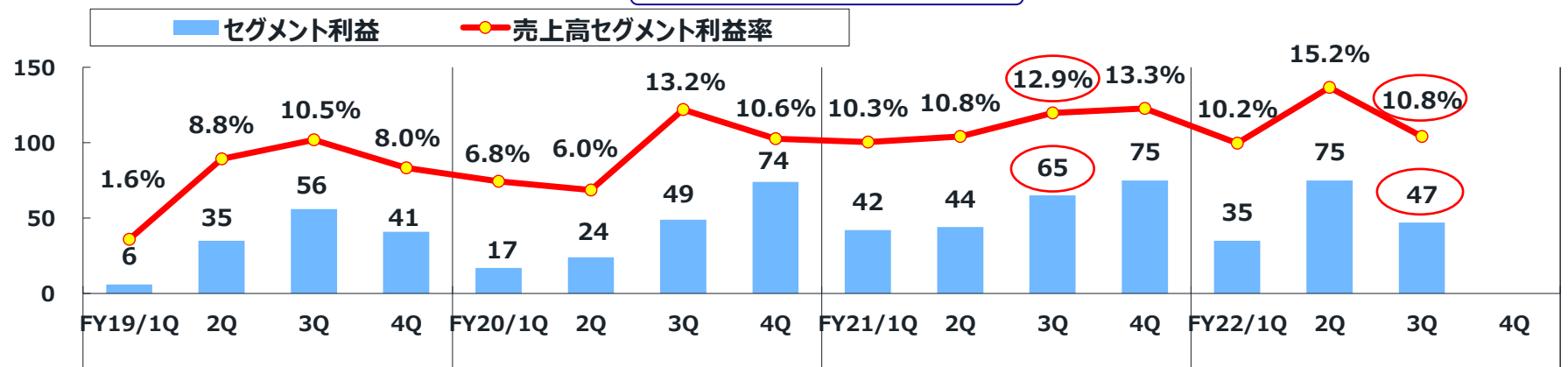
(億円)  
1,000

## 売上高



(億円)

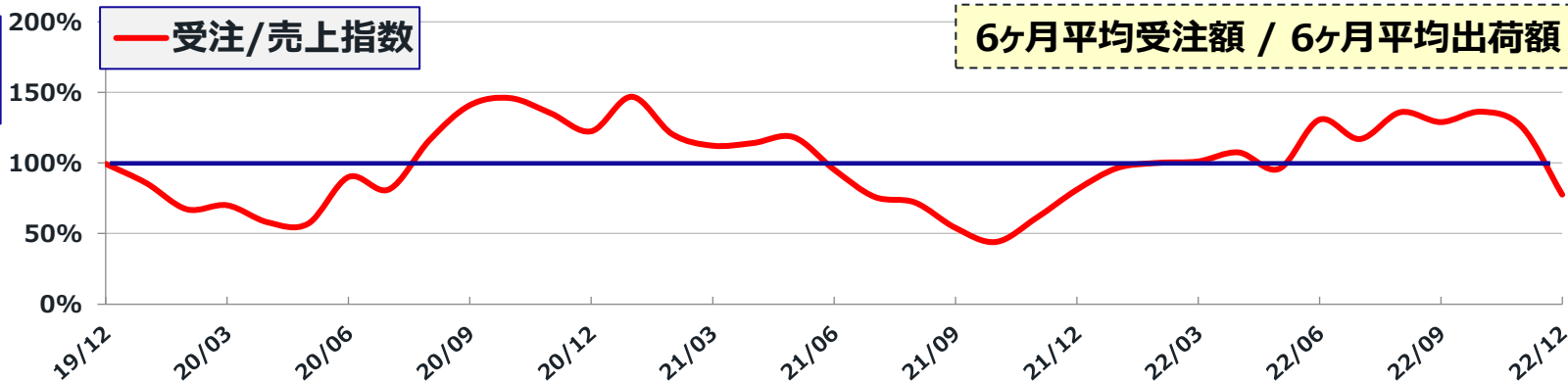
## セグメント利益



# 【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

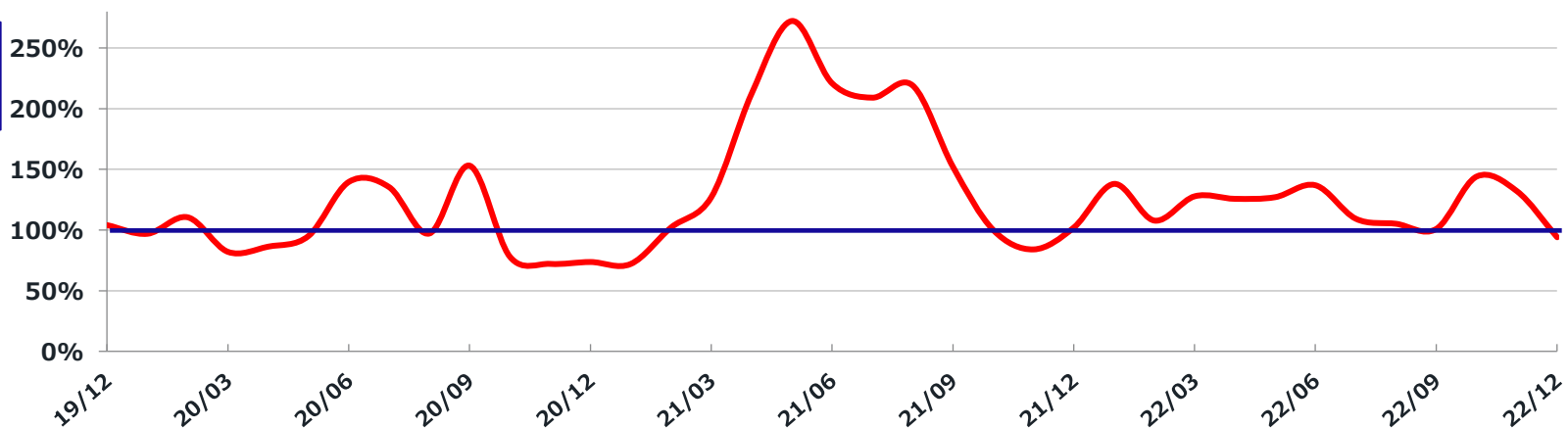
## コマツアメリカ (マイニング)

730E,830E  
860E  
930E,960E  
980E



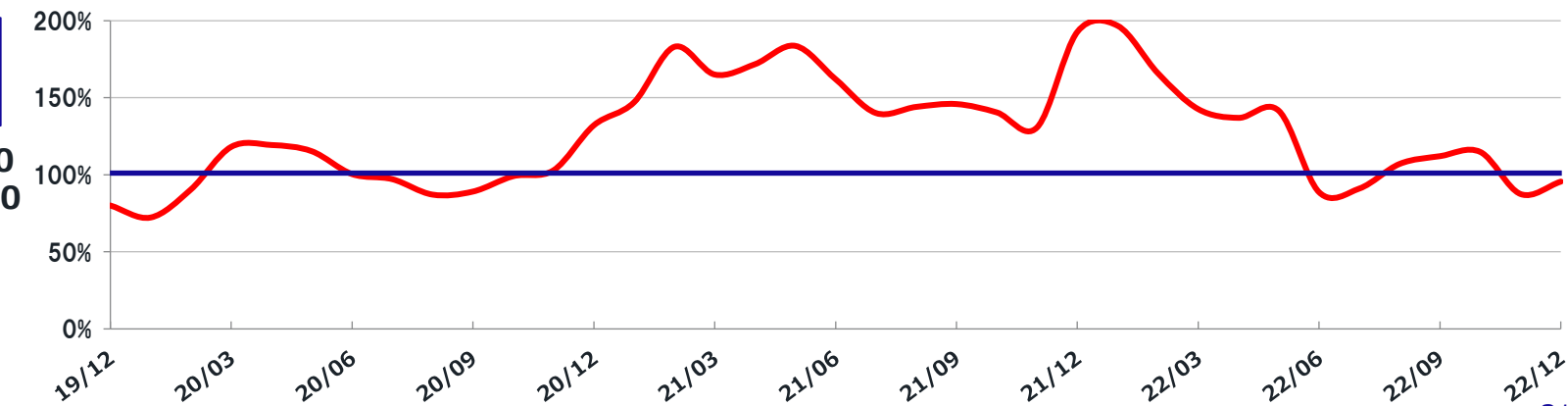
## コマツドイツ (マイニング)

PC3000  
PC4000  
PC5500  
PC7000  
PC8000



## コマツ単独 (マイニング)

HD785,HD1500  
PC2000,PC3400  
PC4000  
WA800 up  
D375A up  
GD825A up

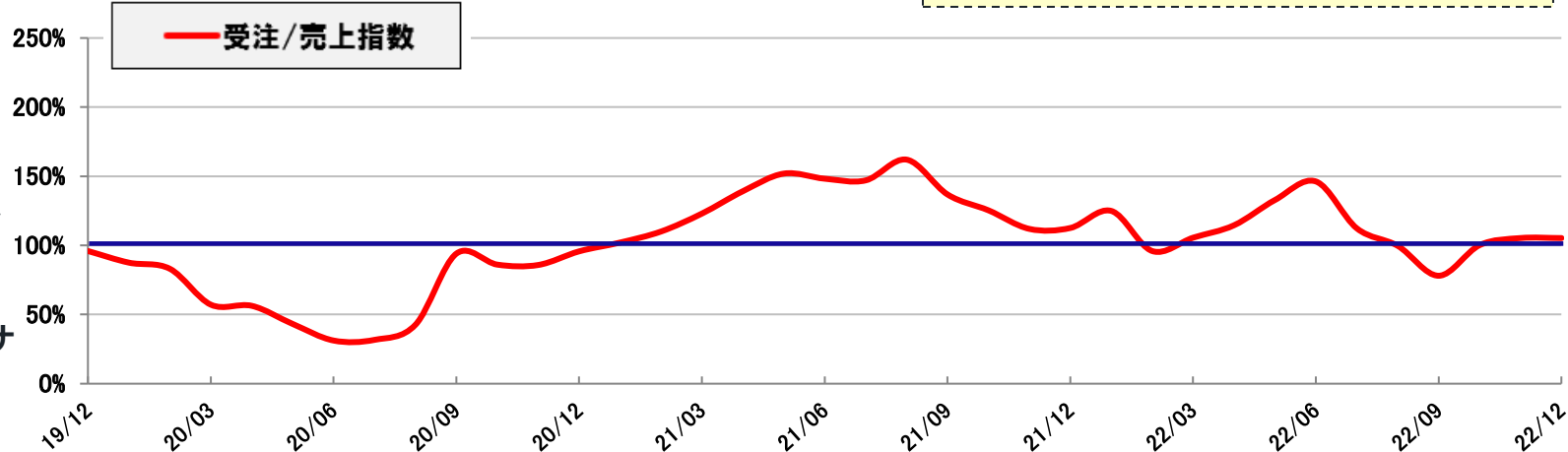


# 【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

## KMC (マイニング)

- <露天掘り>
- ロープショベル
- ブラストホールドリル
- ドラグライン他
- <坑内掘り>
- コンティニューアスマイナ
- シアラー
- ロードホールダンプ
- ドリルジャンボ他

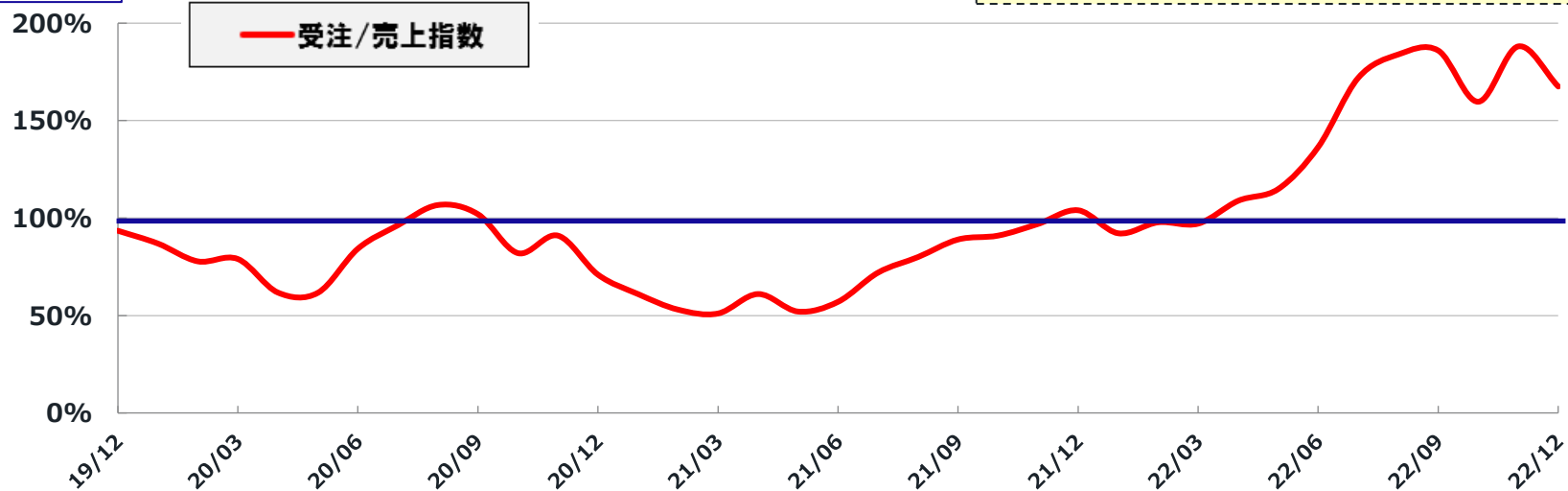




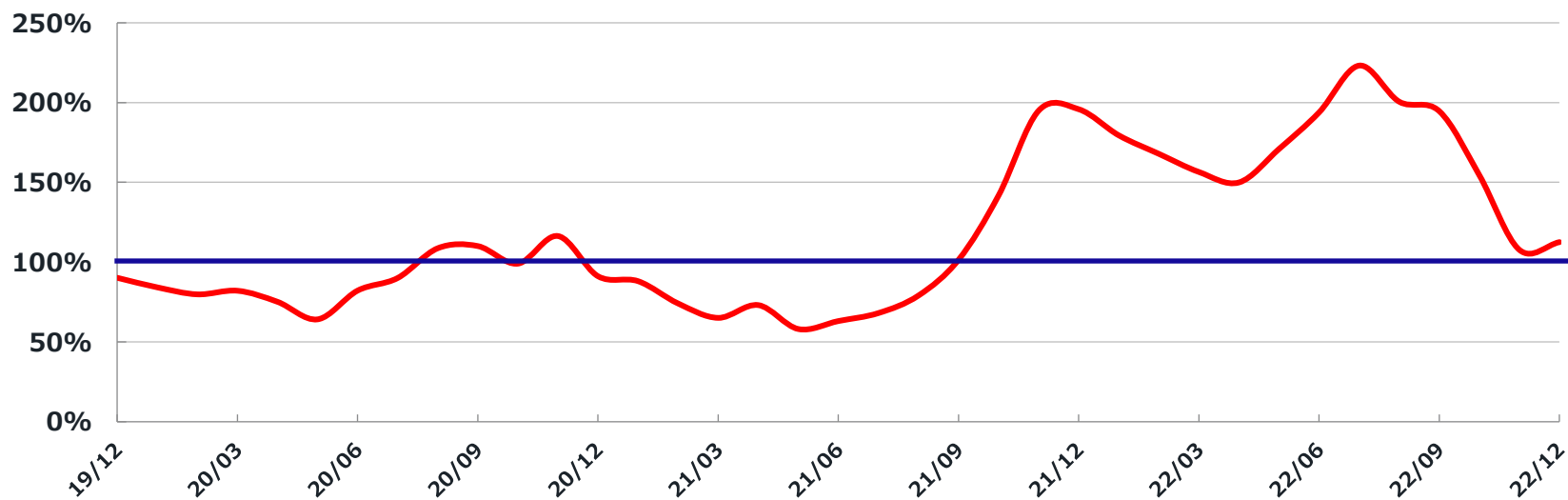
# 【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

## コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



## コマツNTC



## -坑内掘りハードロック向け鉱山機械ビジネスの強化- ドイツ GHH社を買収

- ・コマツは、坑内掘り鉱山機械メーカーであるGHH Group GmbH（本社：ドイツ ノルトライン＝ヴェストファーレン州）を買収することを決定しました。
- ・坑内掘りハードロック向け鉱山機械の需要は増加が見込まれていることから、コマツは同分野の製品開発を強化しています。GHH社は、狭い坑道に適したLHD（ロードホールダンプ）やダンプトラックなどの坑内掘り鉱山機械のラインナップを幅広く保有しています。

（ニュースリリース 2022年12月20日）



狭い坑道に適したGHH社のLHD（ロードホールダンプ）



GHH社の坑内掘りダンプトラック

**-カーボンニュートラルの実現へ向け現場の電動化をさらに拡大-  
リチウムイオンバッテリー搭載 電動式フォークリフト「FE25G-2」、「FE30G-2」を新発売**

- ・カーボンニュートラルの実現に向けて、CO2排出削減に貢献する2.5トン、3.0トンクラスの電動式フォークリフト「FEシリーズ」に大容量リチウムイオンバッテリーを搭載した「FE25G-2」、「FE30G-2」を昨年12月より発売しました。
- ・従来機の特長はそのままに、急速充電による充電時間短縮と継ぎ足し充電が可能になったことで、電動式フォークリフトの導入が難しいとされてきた長時間稼働や高負荷作業が必要とされる現場でも連続作業が可能な電動式フォークリフトです。

(2022年10月12日 ニュースリリース)



新発売の「FE25G-2」



新開発の定置式急速充電器と2口充電



## ESGへの取組み：外部評価

Member of

### Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

世界の代表的なSRI(社会的責任投資)指標である「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシズワールドインデックス」に選定されました。

(2022年12月12日 ニュースリリース)



環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPにより「気候変動対策」および「水セキュリティ対策」Aリスト企業と認定されました。

(2022年12月13日 ニュースリリース)

## 株主・投資家情報

<https://www.komatsu.jp/ja/ir>

## 中期経営計画

[https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428\\_4](https://www.komatsu.jp/ja/newsroom/2022/20220428_4)

## コマツレポート（統合報告書）

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/annual>

## IR-Day

<https://www.komatsu.jp/ja/ir/library/results/2022>

---

### 【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。